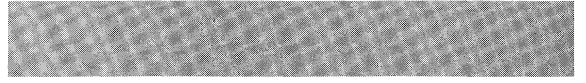


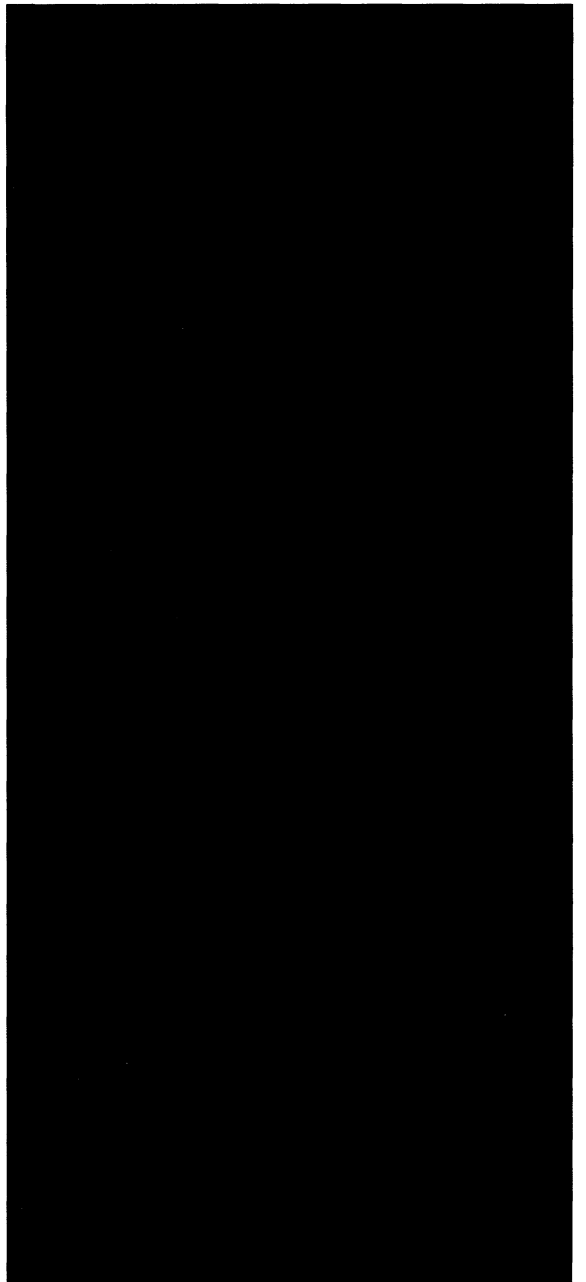
brother



取扱説明書

電子タイプライター

EX-430



EX-430。今日からあなたのセクレタリー。

お買い上げまことにありがとうございます。この製品の素晴らしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この《取扱説明書》を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保管してください。

EX-430で、美しく楽しくタイピング。

〈取扱説明書の使い方〉

本書は、電子タイプライターを初めてお使いになる方には、わかりやすく、またすでに経験されている方には、効率的に、EX-430の機能を理解していただけるように編集しました。

なお、このEX-430のすべての機能をひとつお理解していただいたあと、本書は参考マニュアルとしてお使いください。各章各節は独立して構成されていますから、どこから読み始めても不都合はありません。

電子タイプライターを初めて お使いになる方は

どうか、各章を最初から最後まで熟読してください。読み進むにつれてEX-430があなたのフレンドリーな道具になってゆくはずです。

電子タイプライターの経験が ある方は

特に前半部分は読み飛ばして差しつかえありません。もし知らない事柄があれば、そのページだけに目を通していただければよいと思います。

もくじ

キーボード部の名称とはたらき…………… 1

第1章 タイプを始める前に

1. 機器構成(名称とはたらき)……………	3
2. 電源コード・電源スイッチ……………	4
3. トップカバー……………	4
4. 用紙の挿入(P INS)……………	5
自動挿入……………	5
手動挿入……………	6
スタートラインセットキー(S SET)……………	6
5. コピーコントロールレバー……………	6
6. デイジーホイールカセット……………	7
取りはずし方……………	7
取り付け方……………	7
7. カセットリボン……………	8
取りはずし方……………	8
取り付け方……………	8
8. コレクションテープ……………	9
取りはずし方……………	9
取り付け方……………	9

第2章 EX-430を活用するための10のステップ

初期設定……………	10
1. インパクトキー(IMPACT)……………	10
2. キーボードキー(KEYBOARD)……………	11
インターナショナルキーボード……………	11
シンボルキーボード……………	11
デッドキー……………	11
3. ラインスペースキー(LINE)……………	12
4. ピッチキー(PITCH)……………	12
5. マージン……………	13
左マージンの設定(L MAR)……………	13
右マージンの設定(R MAR)……………	14
マージンの解除……………	14
6. バックスペース……………	15
バックスペースキー(BKSP)……………	15
バックスペース1キー(BS1)……………	15
エクспレスバックスペースキー(EXPR)……………	15
7. シフト・シフトロックキー……………	16
シフトキー(SHIFT)……………	16
シフトロックキー(SHIFT LOCK)……………	16
8. キャプスキー(CAPS)……………	16
9. エクストラ文字……………	17
10. リピートキー(REPEAT)……………	17

第3章 EX-430をより深く知るために

1. ボールドキー(BOLD)……………	18
2. エクスパンドキー(EXPAND)……………	18
3. オートアンダーラインキー (UNDLN)……………	19
4. ホットゾーン……………	19
5. オートキャリヤリターンキー(AUTO)……………	20
パーマネントスペースバー……………	20
パーマネントハイフンキー……………	20
6. タブ……………	21
タブの設定(T SET)……………	21
タブの実施(TAB)……………	21
タブの解除(T CLR)……………	21
タブのオールクリア……………	22
7. デシマルタブ……………	22
デシマルタブの設定(DT SET)……………	22
デシマルタブの実施(TAB)……………	23
デシマルタブの解除(T CLR)……………	23
8. ライトマージンフラッシュキー(RMF)……………	24
ライトマージンフラッシュの解除……………	24
9. ラインインデントキー(L IND)……………	24
10. パラグラフインデントキー(P IND)……………	25
パラグラフインデントの解除(IND CLR)……………	25
11. センタリング(CTR)……………	26
センタリングの解除……………	26
12. 重ね文字……………	27
13. スーパースクリプト 上つき文字 (R INDEX)……………	28
14. サブスクリプト 下つき文字 (INDEX)……………	28
15. コレクション(CORRECT)……………	29
オートコレクション……………	29
マニュアルコレクション……………	30
16. ワードアウトキー(WORD OUT)……………	31
17. ラインアウトキー(LINE OUT)……………	32
18. キャリヤ移動……………	32

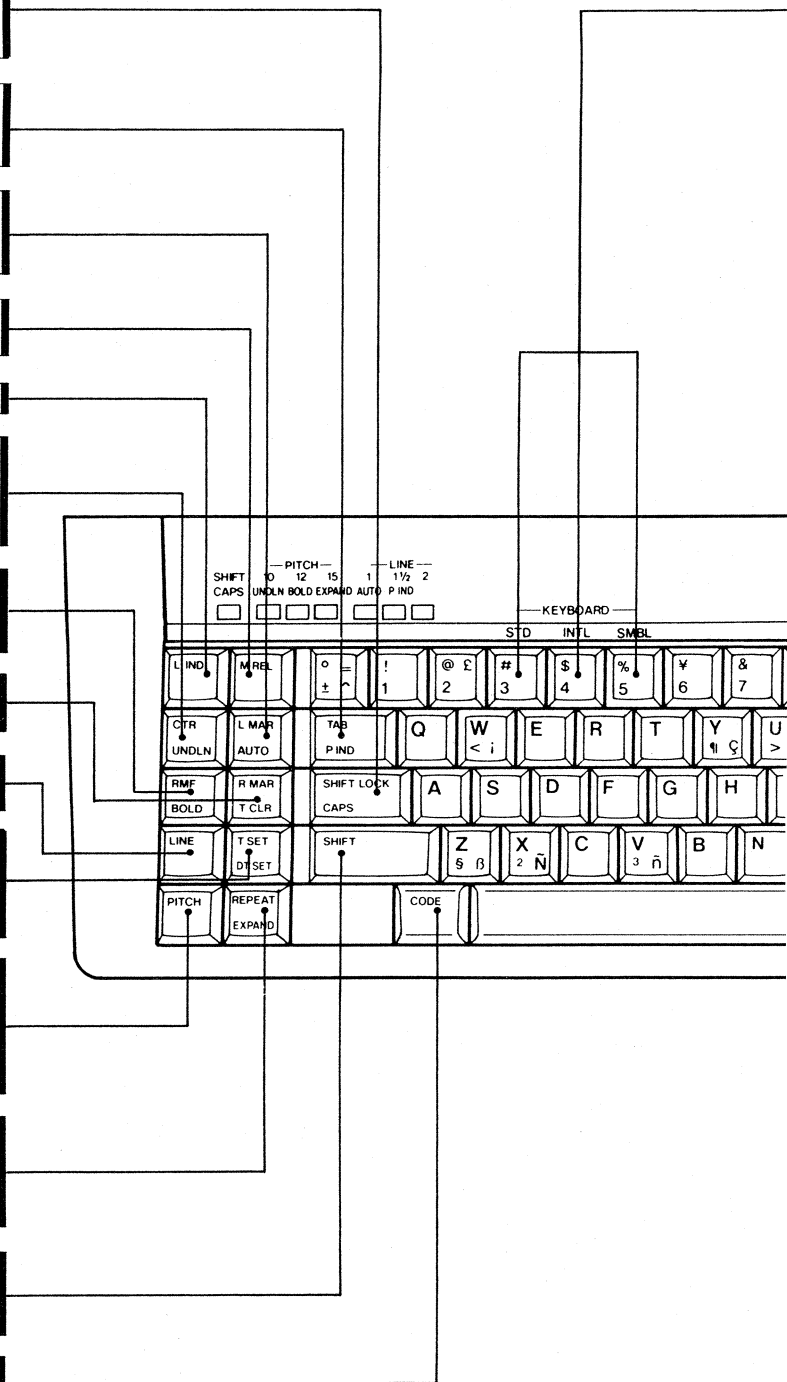
第4章 高性能を身近なものに

1. メモリーの登録……………	33
2. メモリーの打ち出し……………	34
3. メモリーの消去……………	34
4. ラインフォーム……………	35
デイジーホイールカセットタイプフェース見本……………	36
こんなときは…?……………	38
タイプライターの手入れとご注意……………	39
仕様……………	40
消耗品……………	40
索引……………	41

キーボード部の名称とはたらき

●EX-430のキーボード

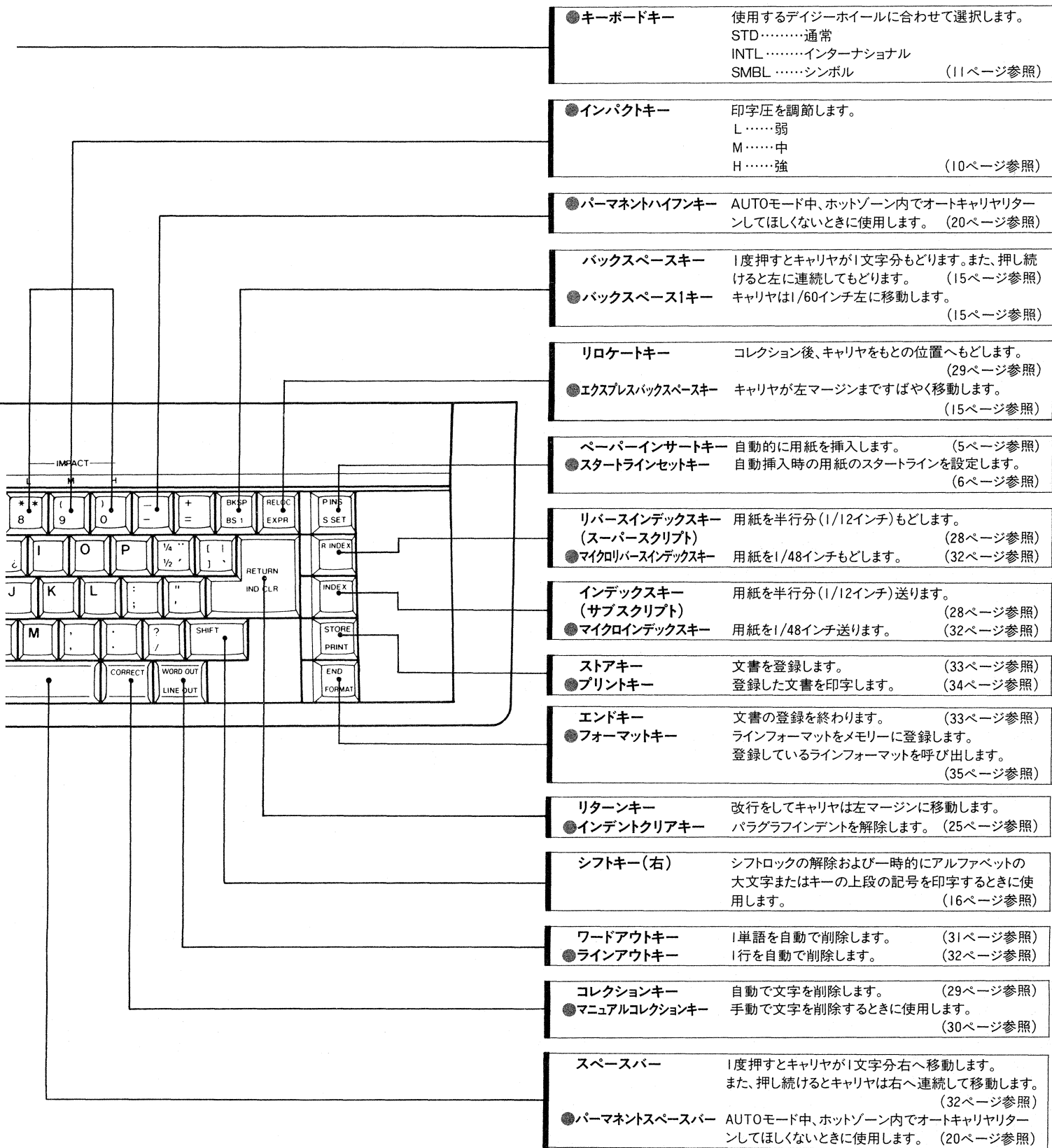
シフトロックキー	アルファベットの太文字またはキー上段の記号を連続して印字するときに使用します。(16ページ参照)
●キャプスキー	数字とアルファベットの太文字を連続して印字するときに使用します。(16ページ参照)
タブキー	キャリヤはすぐ右のタブまたはデジタルタブへ移動します。(21ページ参照)
●パラグラフインデントキー	仮の左マージンを設定します。(25ページ参照)
レフトマージンキー	左マージンを設定します。(13ページ参照)
●オートキャリヤリターンキー	自動的に改行させるときに使用します。(20ページ参照)
マージンリリースキー	左右のマージンを一時的に解除します。(13ページ参照)
ラインインデントキー	キャリヤが右へ5文字分移動します。(24ページ参照)
センタリングキー	左右のマージン間のセンタリングをします。(26ページ参照)
●オートアンダーラインキー	文字や単語に自動的に下線を引きます。(19ページ参照)
ライトマージンフラッシュキー	右マージンで右ぞろえ印字をします。(24ページ参照)
●ボールドキー	単語を強調するときに太文字印字します。(18ページ参照)
ライトマージンキー	右マージンを設定します。(14ページ参照)
●タブクリアキー	タブ、デジタルタブを解除します。(21ページ参照)
ラインスペースキー	行間を選択します。(1…1行、1½…1½行、2…2行)(12ページ参照)
タブセットキー	タブを設定します。1行内に最大24箇所まで設定できます。(21ページ参照)
●デシマルタブセットキー	小数点を含む数字をタイプしたいときに設定します。(22ページ参照)
ピッチキー	使用するデジホイールのタイプピッチに応じて選択します。 10…1インチに10文字印字します。 12…1インチに12文字印字します。 15…1インチに15文字印字します。(12ページ参照)
リピートキー	直前に押したキーの動作を繰り返します。(17ページ参照)
●エクスパンドキー	文字と文字の間を1文字分あけて印字します。(18ページ参照)
シフトキー(左)	シフトロックの解除および一時的にアルファベットの太文字またはキーの上段の記号を印字するときに使用します。(16ページ参照)
コードキー	緑色で表示された記号やファンクションを使うときに使用します。コードキー併用時はすべて先に押します。



インジケター

ピッチ・ラインスペース・ファンクションの設定状態を表示します。コードキーを押すと、下段に印刷されているファンクションの表示に切り替わります。コードキーを押した場合…AUTOモード中でボールドが設定されています。

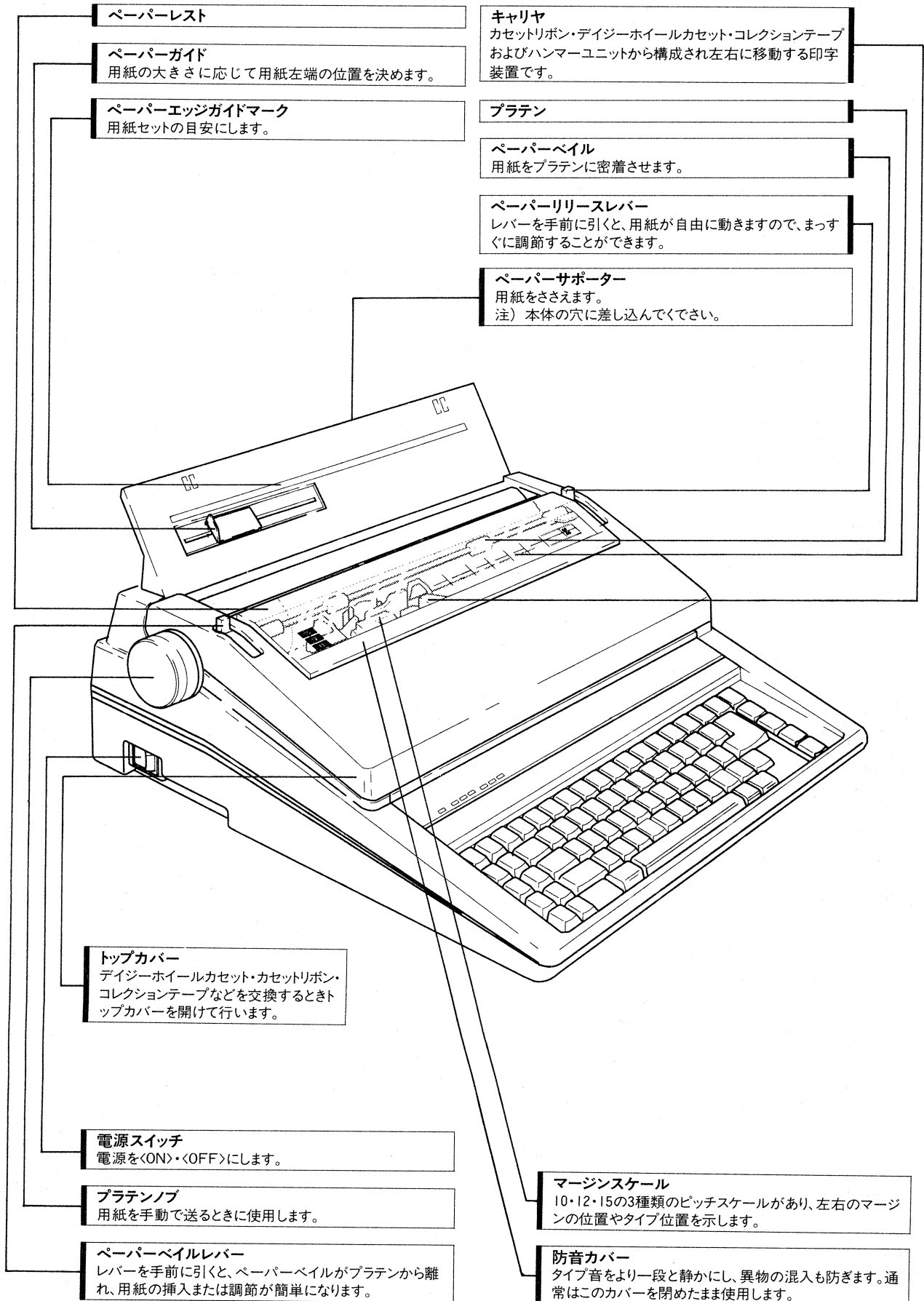
SHIFT CAPS	—PITCH—			—LINE—		
	10 UNDLN	12 BOLD	15 EXPAND	1 AUTO	1½ P IND	2
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



- **キーボードキー** 使用するデジタイホイールに合わせて選択します。
STD ……通常
INTL ……国際的
SMBL ……シンボル (11ページ参照)
- **インパクトキー** 印字圧を調節します。
L ……弱
M ……中
H ……強 (10ページ参照)
- **パーマナントハイフンキー** AUTOモード中、ホットゾーン内でオートキャリヤリターンしてほしくないときに使用します。(20ページ参照)
- **バックスペースキー** 1度押すとキャリヤが1文字分もどります。また、押し続けると左に連続してもどります。(15ページ参照)
- **バックスペース1キー** キャリヤは1/60インチ左に移動します。(15ページ参照)
- **リロケートキー** コレクション後、キャリヤをもとの位置へもどします。(29ページ参照)
- **エクスプレスバックスペースキー** キャリヤが左マージンまですばやく移動します。(15ページ参照)
- **ペーパーインサートキー** 自動的に用紙を挿入します。(5ページ参照)
- **スタートラインセットキー** 自動挿入時の用紙のスタートラインを設定します。(6ページ参照)
- **リバースインデックスキー (スーパースクリプト)** 用紙を半分分(1/12インチ)もどします。(28ページ参照)
- **マイクロリバースインデックスキー** 用紙を1/48インチもどします。(32ページ参照)
- **インデックスキー (サブスクリプト)** 用紙を半分分(1/12インチ)送ります。(28ページ参照)
- **マイクロインデックスキー** 用紙を1/48インチ送ります。(32ページ参照)
- **ストアキー** 文書を登録します。(33ページ参照)
- **プリントキー** 登録した文書を印字します。(34ページ参照)
- **エンドキー** 文書の登録を終わります。(33ページ参照)
- **フォーマットキー** ラインフォーマットをメモリーに登録します。登録しているラインフォーマットを呼び出します。(35ページ参照)
- **リターンキー** 改行をしてキャリヤは左マージンに移動します。
- **インデントクリアキー** パラグラフインデントを解除します。(25ページ参照)
- **シフトキー(右)** シフトロックの解除および一時的にアルファベットの太文字またはキーの上段の記号を印字するときに使用します。(16ページ参照)
- **ワードアウトキー** 1単語を自動で削除します。(31ページ参照)
- **ラインアウトキー** 1行を自動で削除します。(32ページ参照)
- **コレクションキー** 自動で文字を削除します。(29ページ参照)
- **マニュアルコレクションキー** 手動で文字を削除するときに使用します。(30ページ参照)
- **スペースバー** 1度押すとキャリヤが1文字分右へ移動します。また、押し続けるとキャリヤは右へ連続して移動します。(32ページ参照)
- **パーマナントスペースバー** AUTOモード中、ホットゾーン内でオートキャリヤリターンしてほしくないときに使用します。(20ページ参照)

注) ●印はコードキーを併用します。

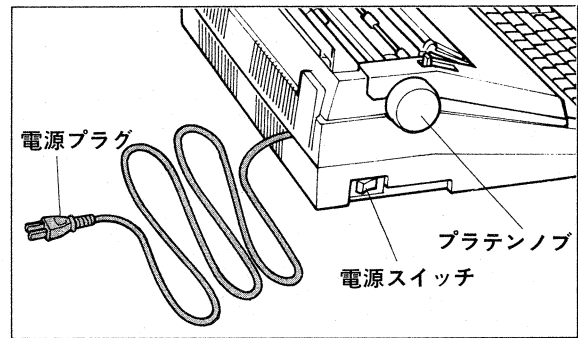
1. 機器構成(名称とはたらき)



2. 電源コード・電源スイッチ

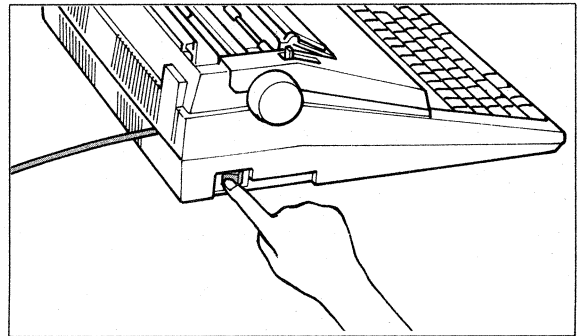
1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

注) お買い上げ後、初めてご使用になるときは、タイプライター内の固定材を取りはずしてください。



2. 左側プラテンノブの下にある、電源スイッチを〈ON〉にします。

デジールホイールが回転して停止します。
同時に、キャリヤが左端に自動的に移動したあと、10文字分右に移動して止まります。



注) 1. 作動しないときは、「こんなときは……？」(38ページ)を参照してください。

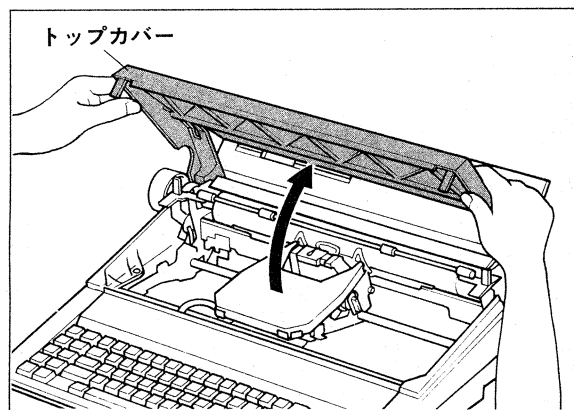
2. カセットリボンの交換などトップカバーを開けると、キーボードはロックします。これによって電源スイッチが〈ON〉の状態でも、デジールホイールカセット・カセットリボンまたはコレクションテープの交換は安全にできます。

3. トップカバー

デジールホイールカセット、カセットリボンやコレクションテープの交換のときに、トップカバーを開けて行います。

電源スイッチが〈ON〉のときに、トップカバーを開けるとキーボードはロックします。

トップカバーを閉じると、キャリヤは左端に移動したあと、もとの位置にもどります。



注) 1. トップカバーを開けても、マージン・タブおよびオートコレクションなどは保護します。

2. キャリヤは手で動かさないでください。

3. トップカバーを閉めたときは、確実に閉められていることを確認してください。

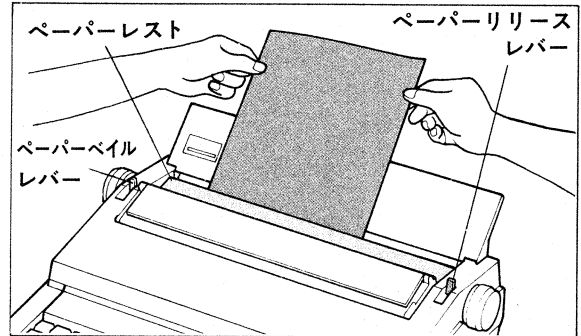
4. 用紙の挿入(P INS)

EX-430は、簡単な3つのステップで用紙の挿入を行うことができます。

■自動挿入

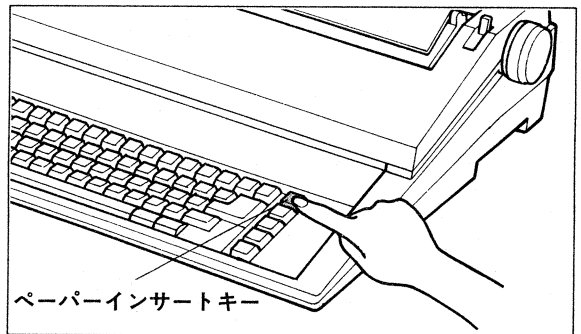
本体の電源スイッチを〈ON〉にして、ペーパーリリースレバーがうしろ側にあるか確かめてください。

1. 用紙の裏面を手前側にしてペーパーレストのうしろ側から、プラテンの抵抗が感じられる位置まで差し込みます。用紙の左端をペーパーカイドに添えます。

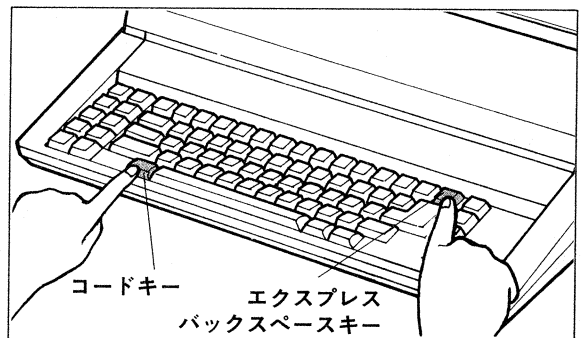


2. ペーパーインサートキーを押すとペーパーベイルが上がり、キャリヤは中央に移動し、用紙が自動的に送り込まれます。(そのままでもタイプできます。)

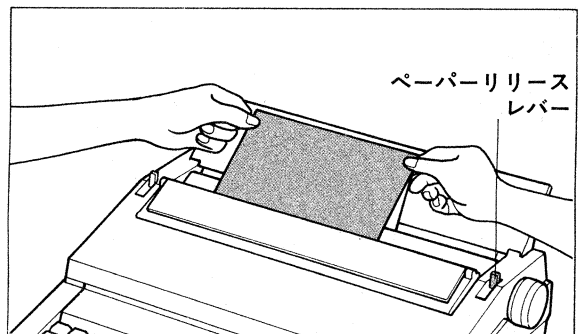
注) 用紙の送り込み量を設定することができます。
"スタートラインセットキー"(6ページ)を参照してください。



3. コードキーを押したまま、エクスプレスバックスペースキーを押し、キャリヤを左マージンに移動します。



- 注) 1. 用紙の位置調節を行うときは、インデックスキー・リバーインデックスキーにより、半行幅(1/12インチ)で用紙を上げたり、下げたりすることができます。さらに微調節を行うときは、コードキーを押したままインデックスキー・リバーインデックスキーを押すと1/48インチ(約0.5mm)単位で上下できます。
2. 用紙が曲がっていたり、正しくセットされていないときは、ペーパーリリースレバーを手前に引き、用紙を直してください。次に、ペーパーリリースレバーをもとにもどしてください。



■手動挿入

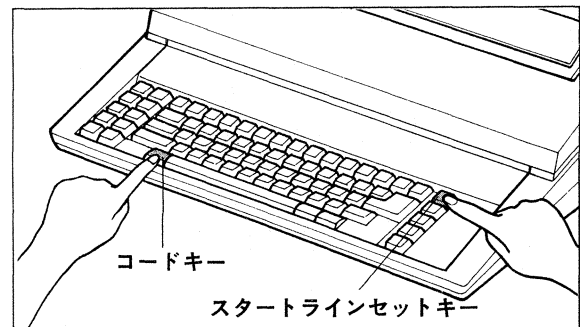
1. ペーパーリリースレバーがうしろ側にあることを確かめます。
2. 用紙裏面を手前にして用紙の左側をペーパーガイドに合わせながら、両手で用紙をまっすぐに挿入します。
3. ペーパーベイルレバーを手前に引いたままプラテンノブを回して、用紙を送ります。用紙の先端がペーパーベイルの下へきたら、ペーパーベイルレバーをもとの位置にもどします。

注) 用紙が曲がっていたり、正しくセットされていないときは、5ページの注)2.を参照してください。

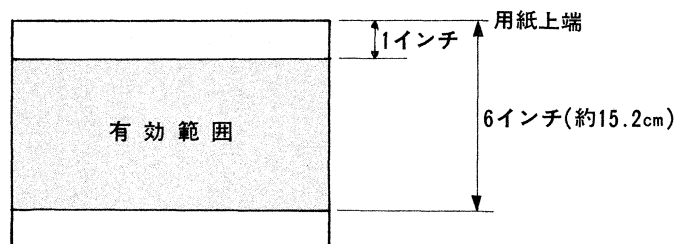
■スタートラインセットキー(S SET)

ファーストライン（最初のタイプ行）の設定ができます。

1. ペーパーインサートキーを押し、用紙を自動挿入します。(5ページ2.の状態)
2. インデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、タイプし始めたい位置に用紙を送ります。(5ページの注)1.参照)
3. コードキーを押したまま、スタートラインセットキーを押すと、新しいスタートラインが設定できます。

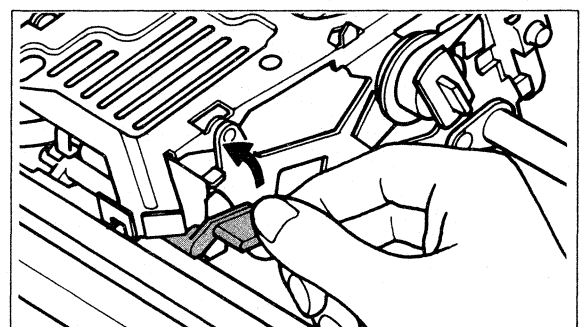


- 注) 1. 初期設定は、1インチ(約2.5cm)に設定されています。
2. スタートラインは、次の範囲内で設定します。



5. コピーコントロールレバー

キャリヤの右側にコピーコントロールレバーがあり、2段階に調節することができます。通常用の紙1枚のときは、レバーを下の位置にします。厚い用紙または封筒などを挿入するときは、レバーを上げます。

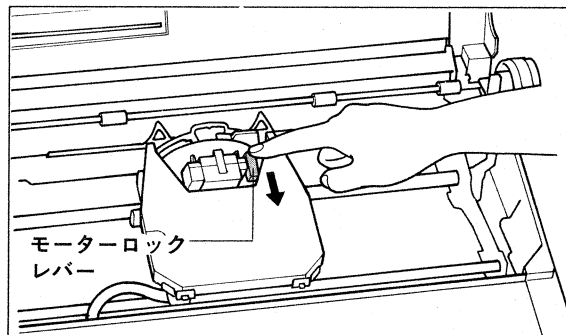


6. デイジーホイールカセット

EX-430にはブルーアム10のデイジーホイールカセットがすでに入っています。異なるタイプフェースのデイジーホイールカセットを交換するときでも、その操作はとても簡単です。

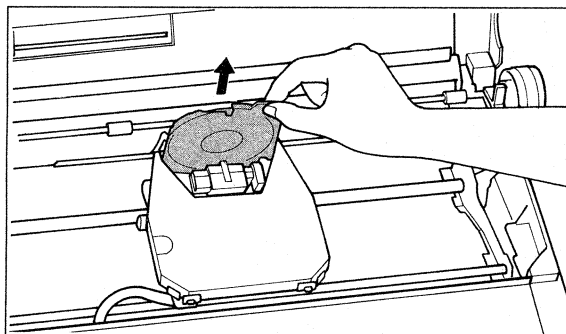
■取りはずし方

1. トップカバーを開け、モーターロックレバーを手前に引きま
す。



2. デイジーホイールカセットのつまみを引き上げます。

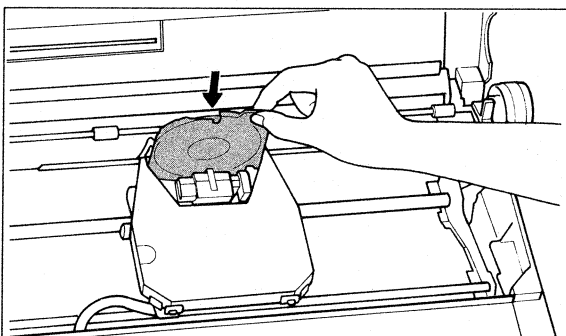
注) デイジーホイールカセットを取りはずすときは、カセット
リボンを取りはずす必要はありません。



■取り付け方

1. デイジーホイールカセットのつまみを持ってカセットガイ
ドに入れ、確実に押し込みます。

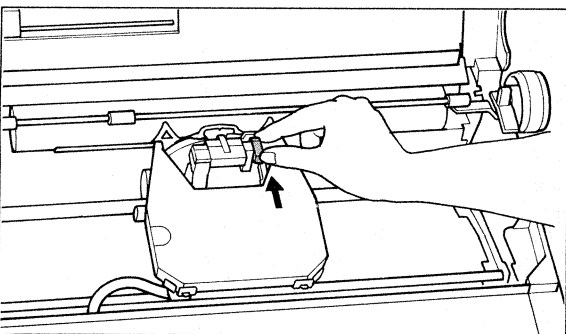
注) デイジーホイールカセットのつまみは、必ず右側にくるよ
うにセットしてください。



2. モーターロックレバーを、カチッと音がするまでプラテン
方向へ押しします。

3. トップカバーを閉めます。

注) デイジーホイールカセットが正しくセットされていれば、
デイジーホイールが回転します。

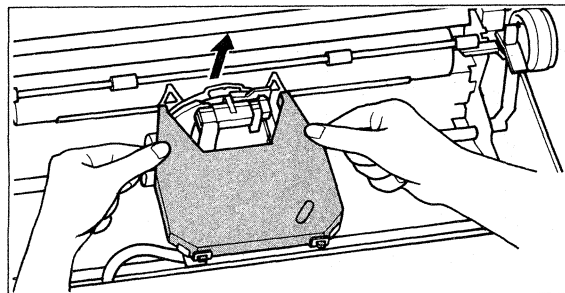


注) 1. デイジーホイールカセットのロックが不十分だと、正しく印字されませんので入れ直してください。
2. デイジーホイールカセットの種類は、「デイジーホイールカセットタイプフェース見本」(36ページ)を参照してく
ださい。

7. カセットリボン

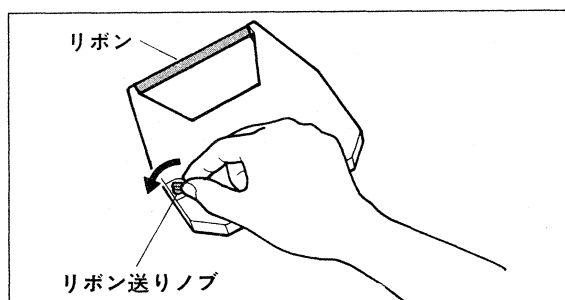
■取りはずし方

1. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリアを中央に移動します。
2. トップカバーを開け、カセットを両手で持ちリボン側を先に持ち上げて取りはずします。

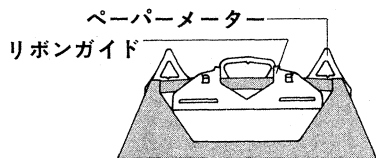


■取り付け方

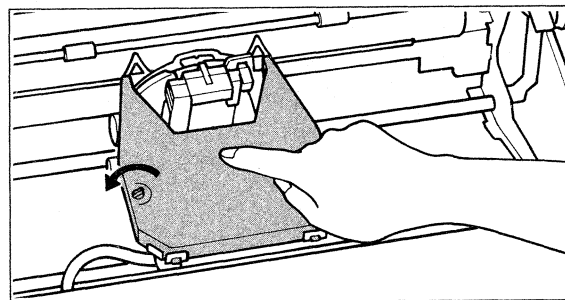
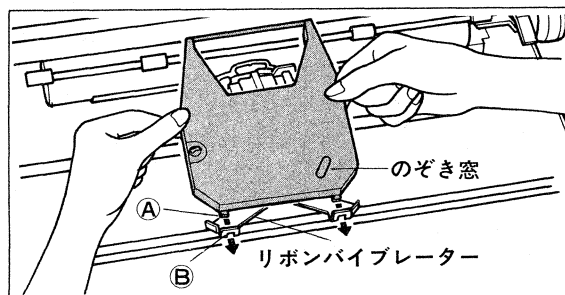
1. 新しいカセットリボンからストッパー(黄色)を取りはずし、カセット上のリボン送りノブを左方向に回し、リボンをピンと張るようにします。
2. カセットリボン下端の両側の凸部(A)を、リボンバイプレーターの穴部(B)に入れてカセットリボンがリボンバイプレーターからはずれないようにします。



3. リボンをペーパーメーターとリボンガイドの間に通し、上からかるくカチッと音がするまで押さえます。リボン送りノブを左方向に回して、たるみを取ります。



4. トップカバーを閉めます。



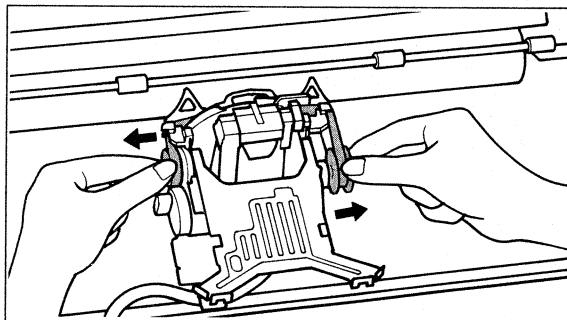
- 注) 1. カセットリボンの上ののぞき窓があり、リボンの残量がわかります。
2. カセットリボンには次の4種類があります。
- コレクタブルカーボンリボン (購入時に装着されています。黒のほか、赤・青・緑・茶の4色があります。) リフトオフコレクションテープにより、きれいなコレクションができます。
 - マルチユースカーボンリボン
コレクタブルカーボンリボンの約2.5倍の文字数がタイプできます。
 - ワンタイムカーボンリボン
最も美しい印字ができ、カーボン用紙への密着性にも優れています。
 - ナイロンリボン
コレクタブルカーボンリボンの約8倍の文字数がタイプできます。
- ※リフトオフコレクションテープは、コレクタブルカーボンリボン使用時以外は使用できません。
- ※長期間にわたりナイロンリボンをご使用になるときは、リフトオフコレクションテープを取りはずしてお使いください。
3. カセットリボンは当社の製品をお使いください。

8. コレクションテープ

コレクションテープによりまちがえた文字をきれいに訂正できます。従来のように修正用紙のかけらや、乾いた修正液のかたまりが本体に付着することがありません。

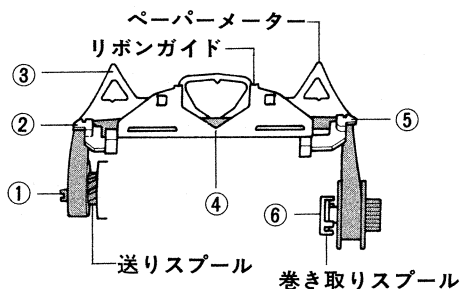
■取りはずし方

1. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを中央に移動します。
2. トップカバーを開け、カセットリボンを取りはずします。コレクションテープの左右のスパールをキャリヤから引き抜きます。

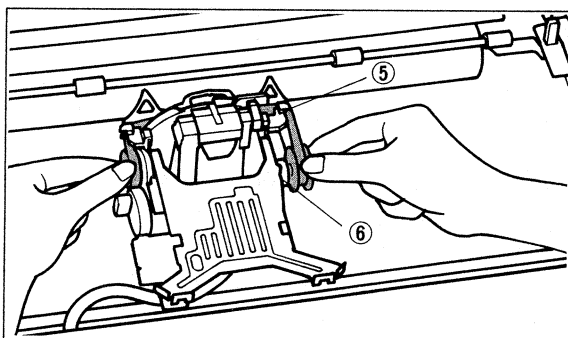
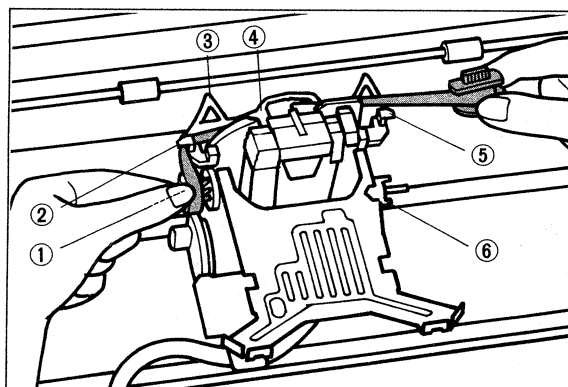


■取り付け方

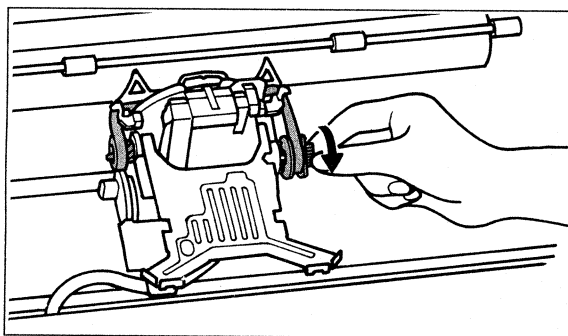
1. 送りスパールを左の軸①に取り付け、テープの粘着面をプラテンに向けて、テープを左のコレクションテープガイド②、ペーパーメーター③とリボンガイド④の間、右のコレクションテープガイド⑤の順に通します。



2. 巻き取りスパールを右の軸⑥に取り付けます。



3. スパールを手前に回して、白いテープが右のスパールにくるまで巻き取ります。



4. トップカバーを閉めます。

注) コレクションテープは次の2種類があります。

- リフトオフコレクションテープ (購入時に装着されています。コレクタブルカーボンリボンと、ともにお使いください。)
- カバーラップコレクションテープ (マルチユースカーボンリボン・ワンタイムカーボンリボンまたはナイロンリボンと、ともにお使いください。)

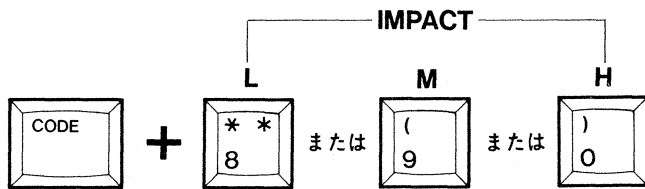
初期設定

初期設定(電源スイッチを<ON>にしたすぐの状態)は、

1. 文字ピッチ.....10
2. ラインスペース.....1
3. 左右マージンの位置 左マージン.....10
右マージン.....75
4. タブの位置.....左右マージン間に10文字ごと
5. デシマルタブの位置.....設定なし
6. インパクト.....M
7. キーボード.....STD
8. AUTO モード.....OFF
9. スタートライン.....1インチ
10. メモリー文章.....登録なし
11. ラインフォーム.....登録なし

1. インパクトキー(IMPACT)

使用する用紙の質・厚さ、またはカーボンコピー数によって、印字圧が調節できます。



コードキーを押したまま、インパクトキーを押して、インパクトを切り替えます。

<L>.....弱い印字圧

<M>.....中ぐらいの印字圧

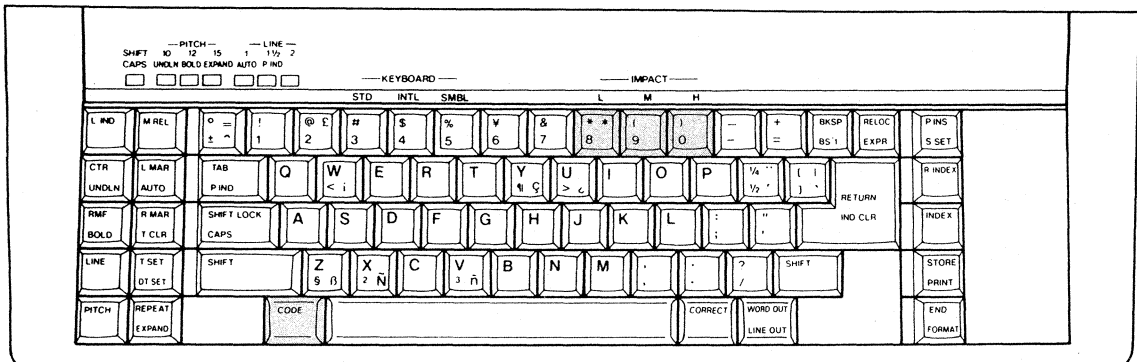
<H>.....強い印字圧

を意味します。

例えば、薄い用紙には<L>、カーボンコピーを作成するときは<H>に設定します。

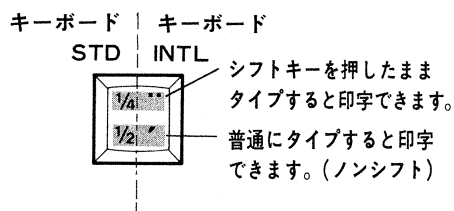
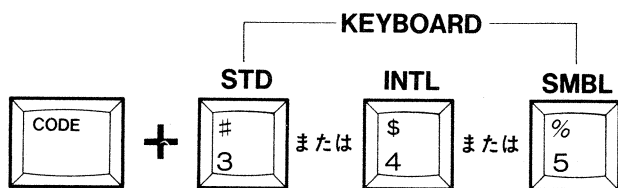
注) 1. オリジナルの文書に加えて、約4枚のカーボンコピーを印字することができます。

2. コピーコントロールレバーを併用すると、より美しく印字ができます。(6ページ参照)



2. キーボードキー (KEYBOARD)

作成したい文書によって3種類のキーボードを選択します。キーボードの選択に合わせてデジタイザカセットのタイプフェイスを選びます。



コードキーを押したままキーボードキーを押して、キーボードを切り替えます。

STD……通常は、〈STD〉を設定します。

INTL……キーの右側の文字をタイプしたいときは、インターナショナルのデジタイザカセット(別売り)に替え、〈INTL〉を設定します。

SMBL……特別な記号や数式などをタイプしたいときは、シンボルのデジタイザカセット(別売り)に替え、〈SMBL〉を設定します。

例	Ⓜ ②	Ⓜ Ⓜ	Ⓜ Ⓜ	Ⓜ Ⓜ	Ⓜ Ⓜ	Ⓜ Ⓜ
キーボードキーの設定	STD	INTL	STD	INTL	STD	INTL
シフト	@	£	[Y	Y
ノンシフト	2	2]	,	y	y
シフト無関係コードキー併用					¶	Ç

注) デジタイザカセットの種類は、「デジタイザカセットタイプフェイス見本」(36ページ)を参照してください。

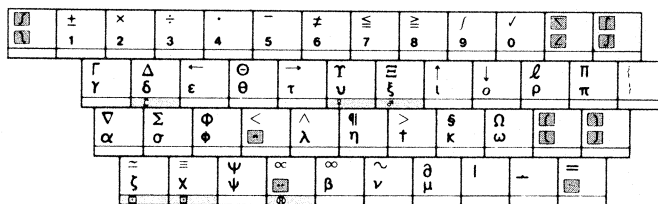
■インターナショナルキーボード

キーボードキーで〈INTL〉を設定すると、キー上の右側の文字を印字します。ただし、インターナショナルのデジタイザカセットが必要です。

■シンボルキーボード

キーボードキーで〈SMBL〉を設定し、シンボルのデジタイザカセットを使うとキーボードは右図のようになります。

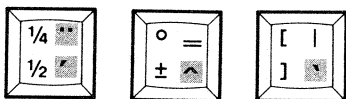
注) シンボルのデジタイザカセットに付いている、キーシールを貼ってください。



■…デッドキー
□…コードキー併用

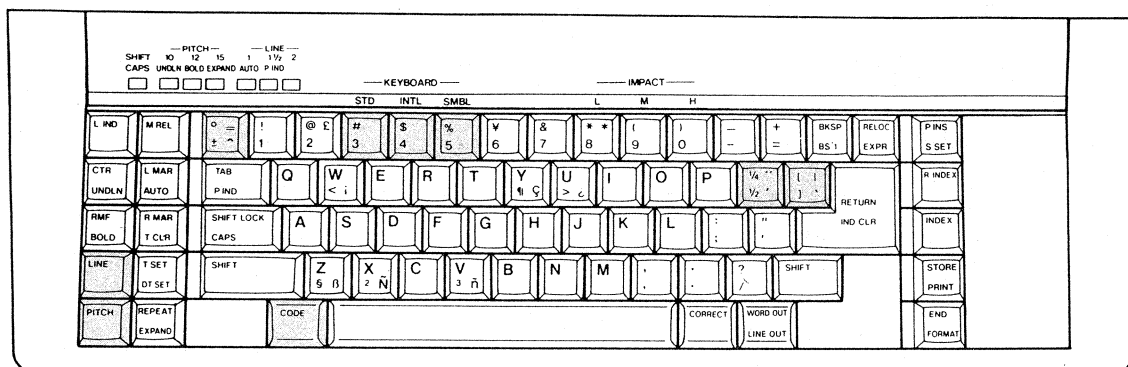
■デッドキー

デッドキーは、特別な単語やシンボルを作るときに使用します。



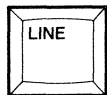
例えば、Û(ユーウムラウト)の場合は、`とUを組み合わせます。まず最初にシフトキーを押したままデッドキー“`”を押します。印字しますがキャリヤは移動しません。

次に、シフトキーを押したまま文字キー“U”を押すとÛ(ユーウムラウト)が印字できます。

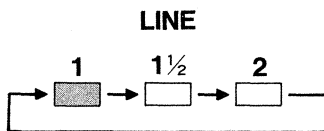


3. ラインスペースキー(LINE)

3種類(1行、1行半、2行)の行送りが選択できます。ラインスペースとは、リターンキーを押したときの行送り量のことです。



ラインスペースキーを押して、ラインスペースを切り替えます。ラインスペースインジケータは次の順で切り替わります。

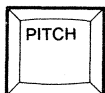


ラインスペースは、タイプ中でも変えることができます。

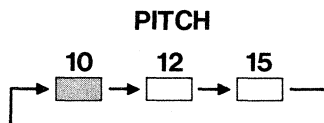
<1>	<1½>	<2>
Three Choices Of Line Spacing	Three Choices Of Line Spacing	Three Choices Of Line Spacing

4. ピッチキー(PITCH)

ピッチとは1インチ(約2.5cm)内で何文字タイプできるかということです。3種類のピッチが選択できます。



ピッチキーを押して、タイプピッチを切り替えます。ピッチインジケータは、次の順で切り替わります。



タイプ中の行でもピッチを変えることができます。

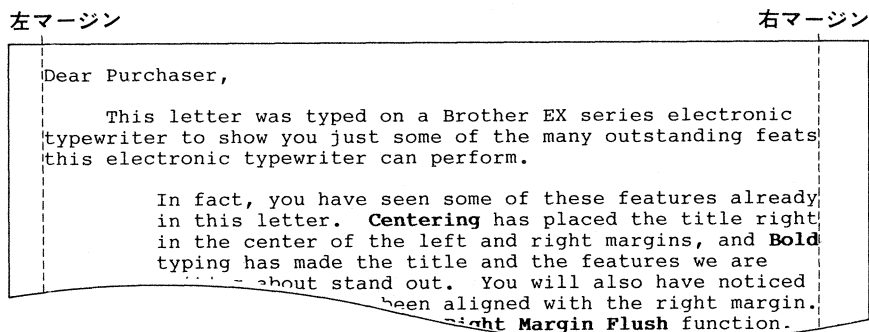
ピッチ	1インチ内の 印字文字数	1行内の 最大印字文字数
10(パイカ)	10文字	117文字
12(エリート)	12文字	140文字
15(ミクロン)	15文字	175文字

10 Pitch gives you a maximum number of 117 characters per line.
12 Pitch gives you a maximum number of 140 characters per line.
15 Pitch gives you a maximum number of 175 characters per line.

5. マージン

用紙に印字する左右幅をマージンといい、左端を左マージン、右端を右マージンと呼びます。

電源スイッチを<ON>にすると、キャリヤは自動的にいちばん左端に移動したあと、10文字分右に移動して止まります。

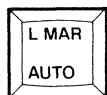
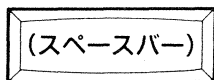


初期設定

	左マージン	右マージン
10ピッチ	10	75
12ピッチ	12	90
15ピッチ	15	112

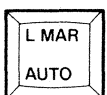
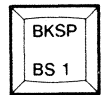
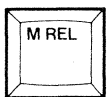
■左マージンの設定 (L MAR)

現在の左マージンより右に設定する場合

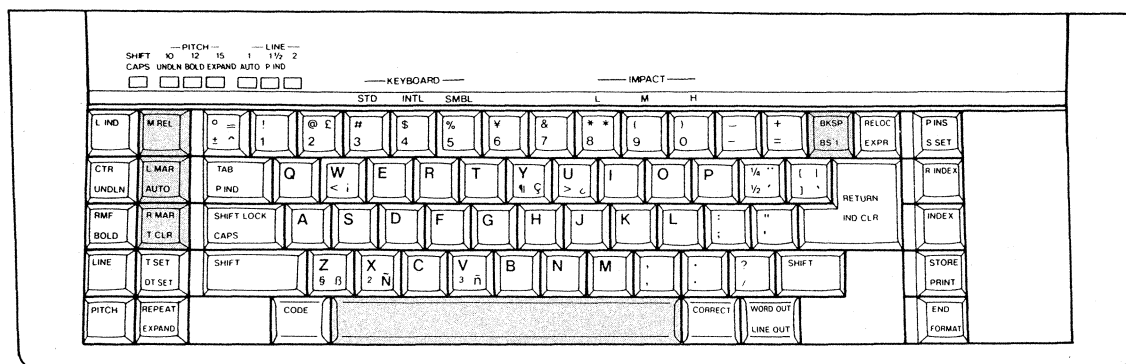


1. スペースバーを押して、左マージンを設定したい位置にキャリヤを移動します。
注) キャリヤが右へ行き過ぎたときは、バックスペースキーでもどしてください。
2. レフトマージンキーを押して、左マージンを設定します。

現在の左マージンより左に設定する場合

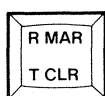
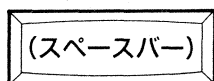
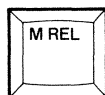
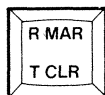
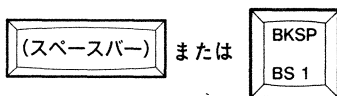


1. キャリヤを左マージンに移動し、マージンリリースキーを押して左マージンを一時的に解除します。
2. バックスペースキーを押して、左マージンを設定したい位置にキャリヤを移動します。
注) キャリヤが左へ行き過ぎたときは、スペースバーでもどしてください。
3. レフトマージンキーを押して、左マージンを設定します。



■右マージンの設定 (R MAR)

右マージンを設定するときは、必ずAUTOモードを解除し、設定してください。(20ページ参照)



現在の右マージンより左に設定する場合

1. スペースバーまたは、バックスペースキーを押して、右マージンを設定したい位置にキャリヤを移動します。
2. ライトマージンキーを押して、右マージンを設定します。

現在の右マージンより右に設定する場合

1. キャリヤを右マージンに移動し、マージンリリースキーを押して右マージンを一時的に解除します。
2. スペースバーを押して、右マージンを設定したい位置にキャリヤを移動します。
注) キャリヤが右へ行き過ぎたときは、バックスペースキーでもどしてください。
3. ライトマージンキーを押して、右マージンを設定します。

注) 1. 左右のマージンは、どこにでも設定できます。しかし、2インチ以内の間隔でマージンを設定しようとする、電子音が鳴り設定できません。

2インチの間隔とは・10ピッチ(パイカ)のときは20文字(エキスパンドモード中は10文字)
12ピッチ(エリート)のときは24文字(エキスパンドモード中は12文字)
15ピッチ(ミクロン)のときは30文字(エキスパンドモード中は15文字)

2. マージンを越えてタイプしたいときは、マージンリリースキーを押してください。

■マージンの解除

新たにマージンを設定すると、前に設定したものは解除します。

6. バックスペース

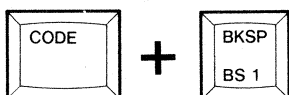
3種類のバックスペースキーがあります。

■バックスペースキー(BKSP)



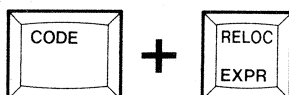
バックスペースキーを押すと、キャリヤが1文字分左にもどります。また、押し続けるとキャリヤは連続してもどります。

■バックスペース1キー(BS1)

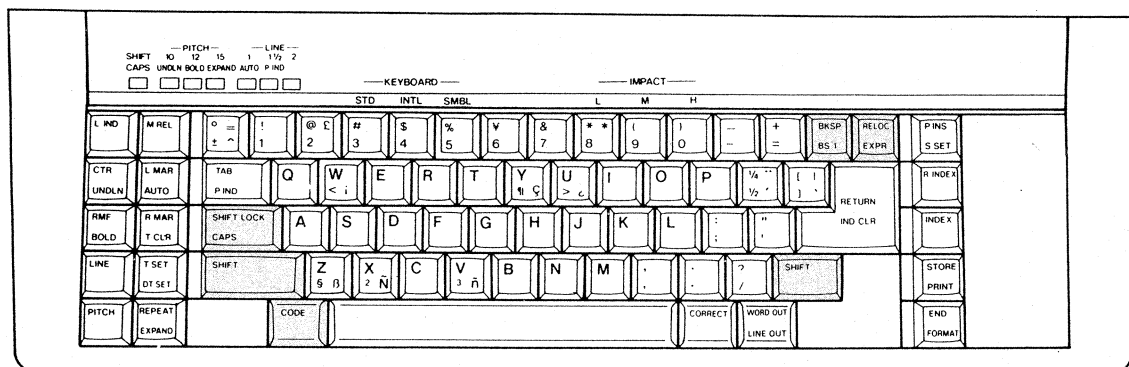


コードキーを押したまま、バックスペース1キーを押します。キャリヤが1/60インチ分左にもどります。センタリングにより自動的に半文字分ずらして印字した文章をマニュアルコレクションするときに使います。その他ローマ数字(II、III)を印字するときにも使います。ピッチ別のバックスペースは下記のとおりです。
ピッチ10……1/6文字
12……1/5文字
15……1/4文字

■エクスプレスバックスペースキー(EXPR)

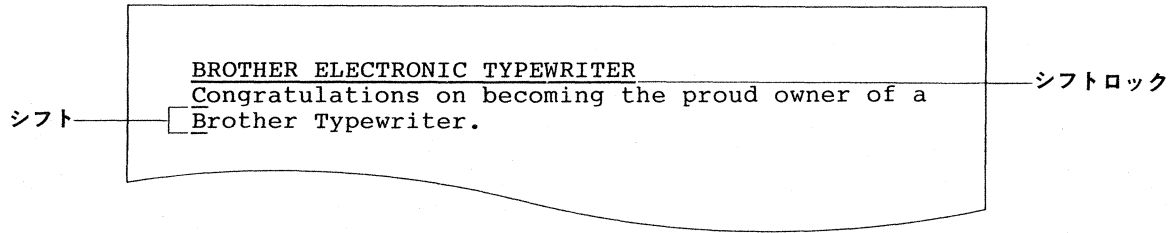


コードキーを押したまま、エクスプレスバックスペースキーを押します。キャリヤが、左マージンにすばやくもどります。

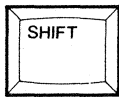


7. シフト・シフトロックキー

シフトキーを押したままタイプするとアルファベットの大文字またはキー上段の記号を印字し、シフトロックキーを使用すると、シフトロックを解除するまで大文字またはキー上段の記号をタイプし続けることができます。

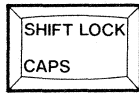


■シフトキー(SHIFT)



大文字やキー上段の記号を、一時的にタイプするときはシフトキーを使います。シフトキーは左右にあり、押すとシフトインジケーターが点灯します。

■シフトロックキー(SHIFT LOCK)



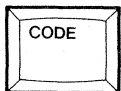
アルファベットの大文字を続けてタイプしたいときは、シフトロックキーを使います。シフトロックキーを押すと、シフトインジケーターが点灯します。

シフトロックを解除するには、シフトキーを押します。シフトインジケーターが消灯します。

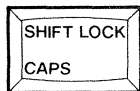
8. キャプスキー(CAPS)

キャプスキーを使用すると、数字とアルファベットの大文字が同時にタイプできます。

TYPING THE NUMERICAL KEY IN LOWER CASE, FOR EXAMPLE, 1.2.3, THE DATE 6-21-1994, AND ETC, WILL BE EASILY DONE.



+

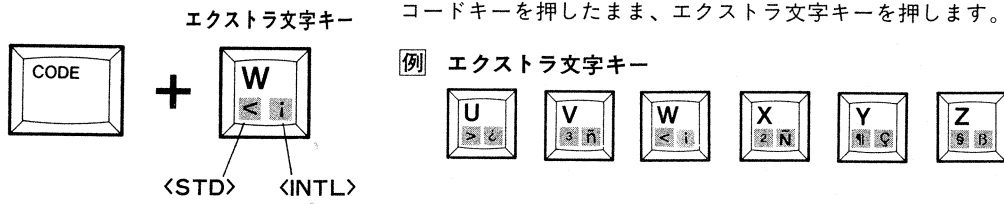


コードキーを押したまま、キャプスキーを押します。キャプスインジケーターが点灯し、手を離すと消灯します。キャプスを解除するには、もう一度コードキーを押したまま、キャプスキーを押します。キャプスインジケーターが消灯します。キー上段の記号は、シフトキーを押したままタイプします。

- 注) 1. シフトロック状態では、キャプスキーがはたらきません。シフトロックを解除してください。
2. コードキーを押すと、キャプスキーの状態を確認することができます。

9. エクストラ文字

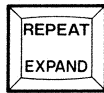
文字キーのエクストラ文字（緑色の文字）をタイプします。



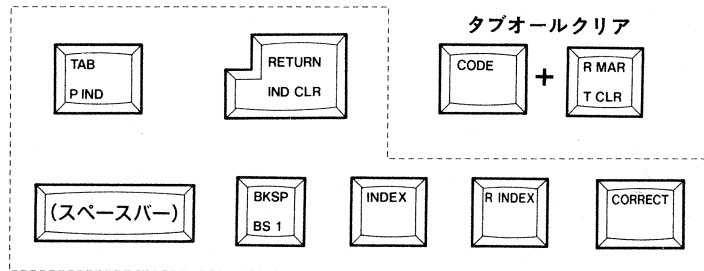
注) キー右側の緑色の文字をタイプしたいときは、インターナショナルのデジザホイール(別売り)に交換し、キーボードキーを<INTL>に切り替えてからタイプしてください。(11ページ参照)

10. リピートキー(REPEAT)

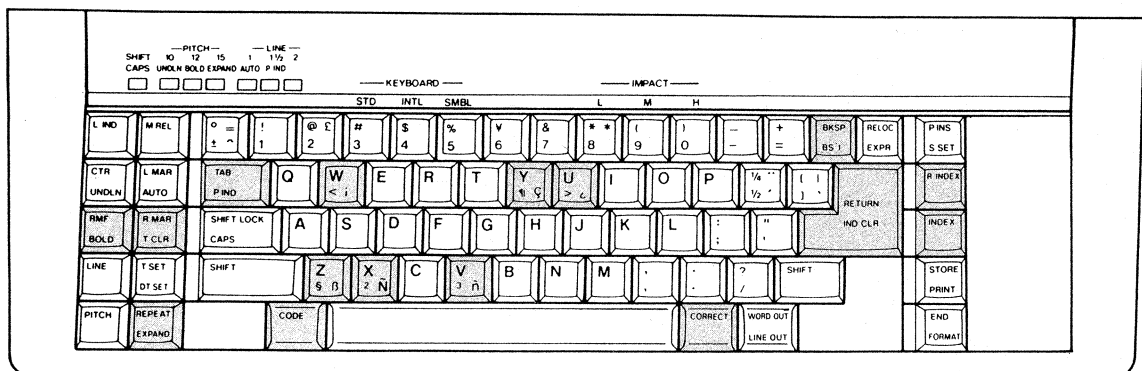
前に押した文字キー、ファンクションキーを繰り返すときに使用します。



注) リピートキーを押して、リピート動作をするファンクションキーは次のとおりです。

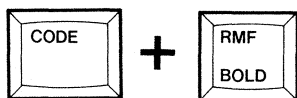
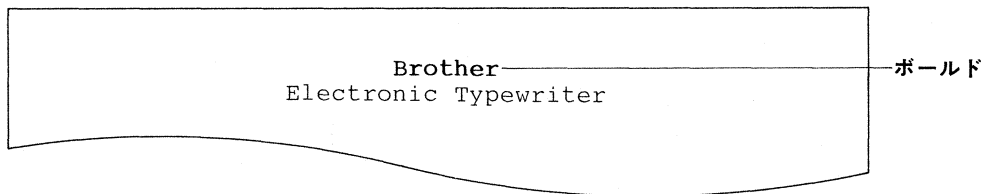


※ 内のファンクションキーはリピートキーを押さなくても、セルフリピート動作を行います。



1. ボールドキー(BOLD)

文章中の単語を強調したいときなどに、ボールドキーを使用します。



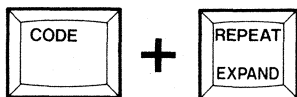
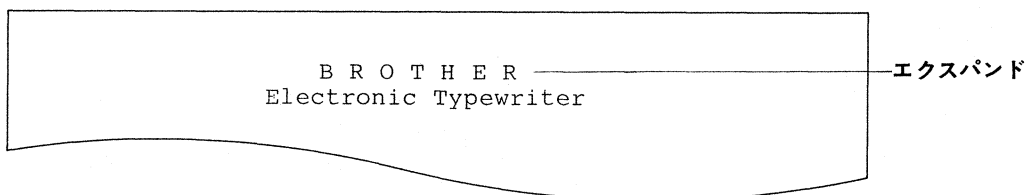
コードキーを押したまま、ボールドキーを押します。
ボールドインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。

ボールドを解除するには、もう一度コードキーを押したまま、ボールドキーを押します。ボールドインジケータが消灯します。

- 注) 1. センタリング・ライトマージンフラッシュ・デシマルタブ、またはオートアンダーラインやエクスパンドを行うときでも、ボールドキーを同時に使うことができます。
2. コードキーを押すと、ボールドキーの状態を確認することができます。

2. エクスパンドキー(EXPAND)

文字と文字の間を1文字分あけて印字でき、タイトルなどに使用します。



コードキーを押したまま、エクスパンドキーを押します。
エクスパンドインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。

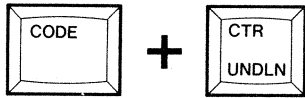
エクスパンドを解除するには、もう一度コードキーを押したまま、エクスパンドキーを押します。エクスパンドインジケータが消灯します。

- 注) 1. センタリング・ライトマージンフラッシュ・デシマルタブ、またはオートアンダーラインやボールドを行うときでも、エクスパンドキーを同時に使うことができます。ただし、センタリング・ライトマージンフラッシュ、デシマルタブの操作を行う前にエクスパンドにしてください。
2. コードキーを押すと、エクスパンドキーの状態を確認することができます。

3. オートアンダーラインキー (UNDLN)

単語または文章に下線を引きたいときに使用します。

There are many more useful, easy-to-use features that will make your time at the EX series keyboard a really enjoyable!



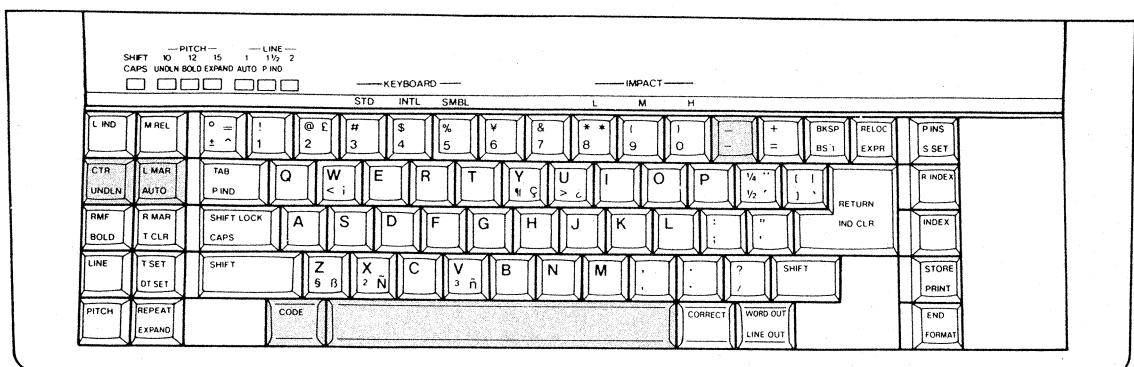
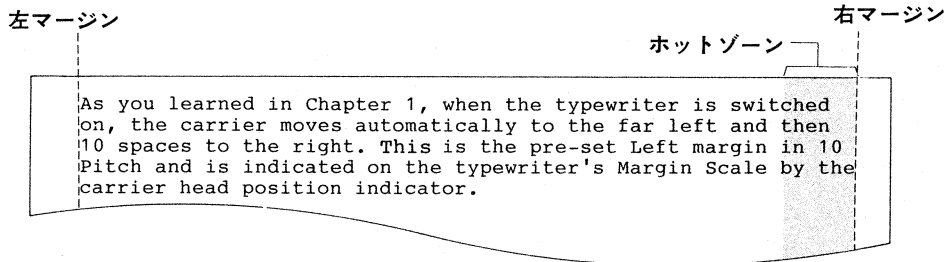
コードキーを押したまま、オートアンダーラインキーを押します。オートアンダーラインインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。タイプする文字やスペースに自動的にアンダーラインが引けます。

オートアンダーラインを解除するには、もう一度コードキーを押したまま、オートアンダーラインキーを押します。オートアンダーラインインジケータが消灯します。

- 注) 1. センタリング・ライトマージンフラッシュ・デシマルタブ、またはボールドやエクスパンドを行う場合でも、オートアンダーラインキーを同時に使うことができます。
 2. コードキーを押すと、オートアンダーラインキーの状態を確認することができます。

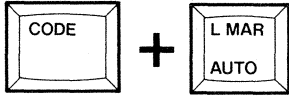
4. ホットゾーン

右マージンから手前6文字分をホットゾーンと呼び、キャリヤがホットゾーンに入ったとき電子音が鳴り、右マージンに近づいていることを知らせます。



5. オートキャリヤリターンキー(AUTO)

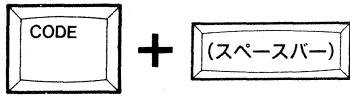
タイプ中に次の行へ移動するときは、通常リターンキーを使用しますが、AUTOモードにしておくとも自動的に改行します。



コードキーを押したまま、オートキャリヤリターンキーを押します。
オートキャリヤリターンインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。
ホットゾーン内でスペースバー・ハイフンキーを押すと、オートキャリヤリターンして左マージンにもどります。

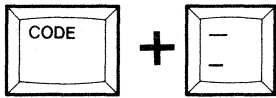
オートキャリヤリターンを解除するには、もう一度コードキーを押したまま、オートキャリヤリターンキーを押します。
オートキャリヤリターンインジケータが消灯します。

■パーマネントスペースバー



オートキャリヤリターンをせずに、ホットゾーン内でスペースをタイプしたいときは、コードキーを押したままスペースバーを押します。

■パーマネントハイフンキー



オートキャリヤリターンをせずに、ホットゾーン内でハイフンをタイプしたいときは、コードキーを押したままハイフンキーを押します。

- 注) 1. 文章をタイプ中、単語の最後の文字をタイプしたあと右マージンへ到達したときは、そのあとのスペースバーではオートキャリヤリターンしません。リターンキーを押して改行します。
2. 文章をタイプ中、単語の途中で右マージンに到達したときは、コレクションキーを押してからハイフンキーを押すか、マージンリリースキーを押して残りの文字をタイプしてから改行します。
3. コードキーを押すとオートキャリヤリターンキーの状態を確認することができます。

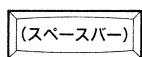
6. タブ

文字の書き出し位置をそろえる機能です。
伝票や表の形式に合わせてタイプするときに便利です。

タブ	タブ	タブ	タブ	
Date	NO. of O ₂ Cylinders	Unit Price	Total Cost	Remarks
28/08/94	65	9.84	639.60	*****
30/09/94	104	34.97	3636.88	NEW PRICE, 1994
TOTAL	169	44.81	4276.48	

Date: 28/10/1994

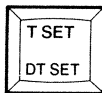
■タブの設定(T SET)



または



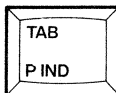
1. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、タブを設定したい位置にキャリヤを移動します。



2. タブセットキーを押して、タブを設定します。

- 注) 1. 初期設定は、左右マージン間に10文字ごとにタブが設定されています。
2. 1行内に最大24箇所（デシマルタブも含む）まで設定できます。
3. タブ位置は、マージンスケール〈0〉からの絶対位置で設定します。左マージンやピッチを変えても変化しません。

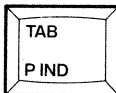
■タブの実施(TAB)



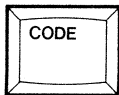
タブキーを押します。
キャリヤは、すぐ右のタブ位置に移動します。

- 注) キャリヤより右側にタブを設定していないときは、右マージンまで移動します。

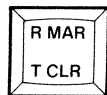
■タブの解除(T CLR)



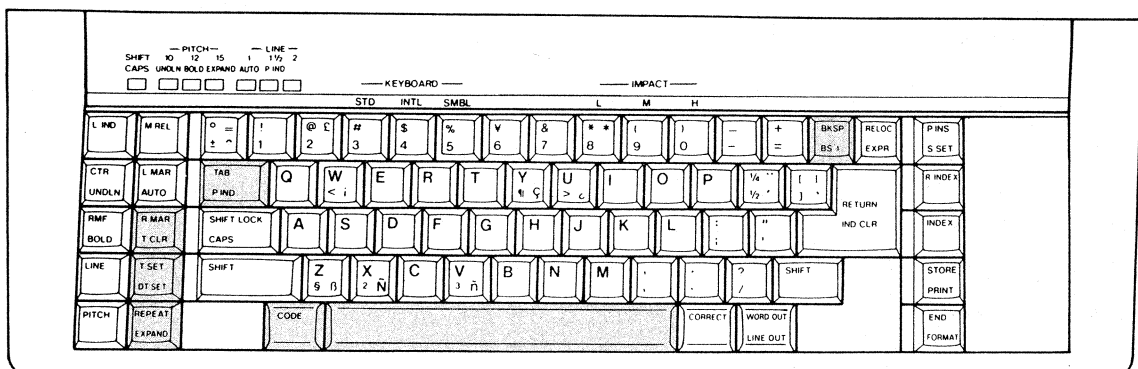
1. タブキーを押して、解除したいタブ位置にキャリヤを移動します。



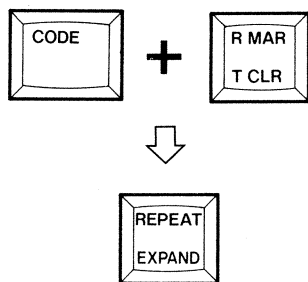
+



2. コードキーを押したまま、タブクリアキーを押して、タブを解除します。



■タブのオールクリア



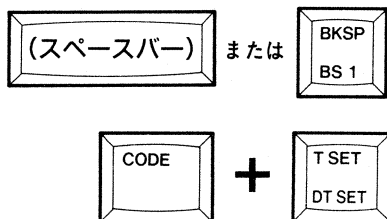
コードキーを押したままタブクリアキーを押します。そのあとリピートキーを押すと、すべてのタブ・デシマルタブを解除します。

7. デシマルタブ

数字の小数点をそろえる機能です。

デシマルタブ	デシマルタブ	デシマルタブ
65	9.84	639.60
104	34.97	3636.88
169	44.81	<u>4276.48</u>

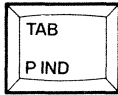
■デシマルタブの設定(DT SET)



1. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、デシマルタブを設定したい位置（小数点の位置）にキャリヤを移動します。
2. コードキーを押したまま、デシマルタブセットキーを押して、デシマルタブを設定します。

注) 1. 1行内に最大24箇所（タブも含む）まで設定できます。
2. デシマルタブ位置は、マージンスケール〈0〉からの絶対位置で設定します。左マージンやピッチを変えても変化しません。

■デシマルタブの実施(TAB)



タイプ



タイプ

1. タブキーを押します。
ラインスペースインジケータ3個が数回点滅して、キャリアがデシマルタブ位置に移動します。

2. 整数部(文字も含む)をタイプします。
タイプした文字は直接印字せず、1文字ごとにキャリアは左へ移動します。

注) 1. タイプした文字の訂正は、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。

1回押すとタイプした文字をすべて削除して、キャリアはデシマルタブ位置にもどります。

2. 入力可能文字数は、左マージンまたはすでに印字されている文字列からデシマルタブ位置までの範囲です。

3. 小数点をタイプします。
タイプした文字と小数点を印字して、デシマルタブモードを解除します。

9.

注) 整数部だけを印字したいときは、小数点の代わりにタブキーまたはリターンキーを押します。

4. 小数点以下をタイプします。

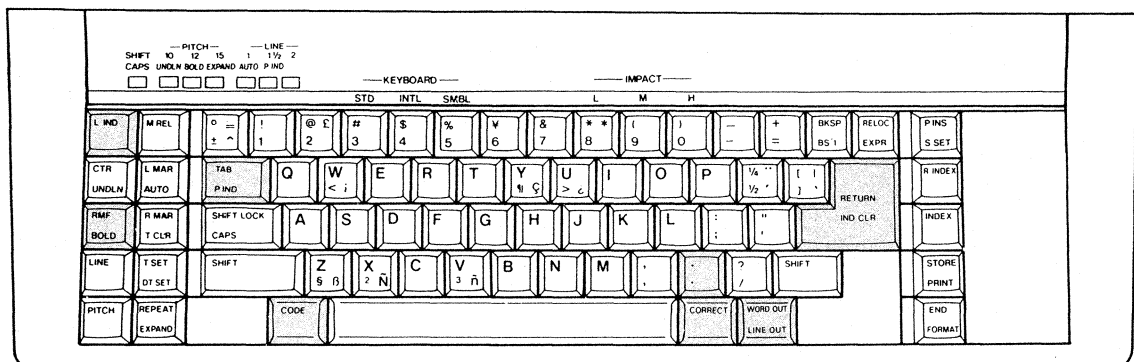
9.84

注) 1. タイプ中に電子音が鳴ったときは、すでに印字済みの隣りの文字との間隔が1文字分しかないときです。このときは、デシマルタブ位置を変更してタイプし直してください。

2. 途中で中止したいときは、タイプした文字を削除後、コレクションキーを押します。

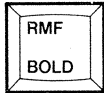
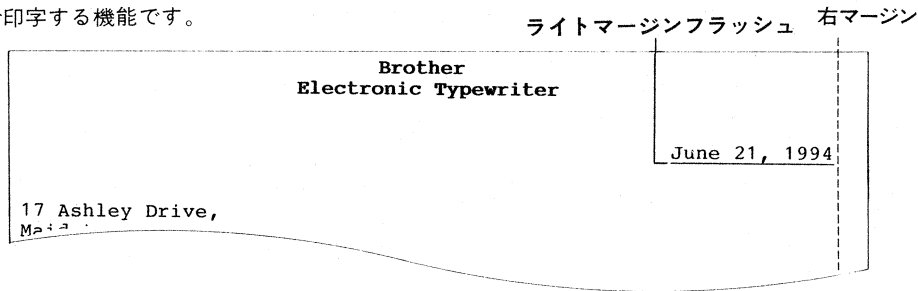
■デシマルタブの解除(T CLR)

デシマルタブの設定位置を解除する方法は、タブと同じです。(21ページ参照)

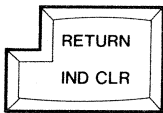


8. ライトマージンフラッシュキー(RMF)

文書を右ぞろえで印字する機能です。



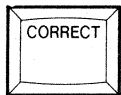
タイプ



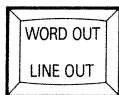
1. ライトマージンフラッシュキーを押すと、キャリヤは右マージンに移動します。
2. 文章をタイプします。
タイプした文章は直接印字せず、1文字ごとにキャリヤは左へ移動します。
注) 1. タイプした文字の訂正は、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。
1回押すとタイプした文字をすべて削除して、キャリヤは右マージンにもどります。
2. 入力可能文字数は、左マージンまたはすでに印字されている文字列から右マージンまでの範囲です。
3. リターンキーを押すと、右ぞろえで印字してライトマージンフラッシュモードを解除します。キャリヤは改行して左マージンにもどります。
注) タブキーを押して、印字することもできます。

注) タイプ中に電子音が鳴ったときは、すでに印字済みの隣りの文字との間隔が1文字しかないときです。これ以上タイプできません。

■ライトマージンフラッシュの解除



または

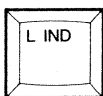
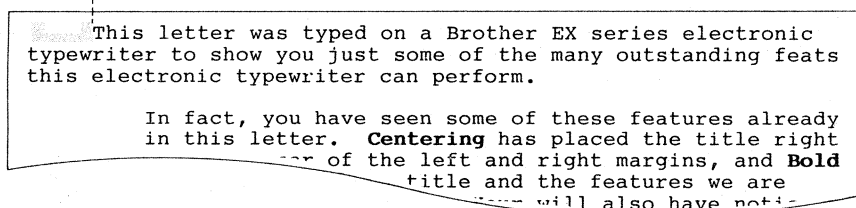


タイプした文字を削除後、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。キャリヤはもとの位置にもどり、ライトマージンフラッシュモードを解除します。

9. ラインインデントキー(L IND)

手紙などをタイプするとき、最初の行を5文字分あげたいときに使用します。

ラインインデント

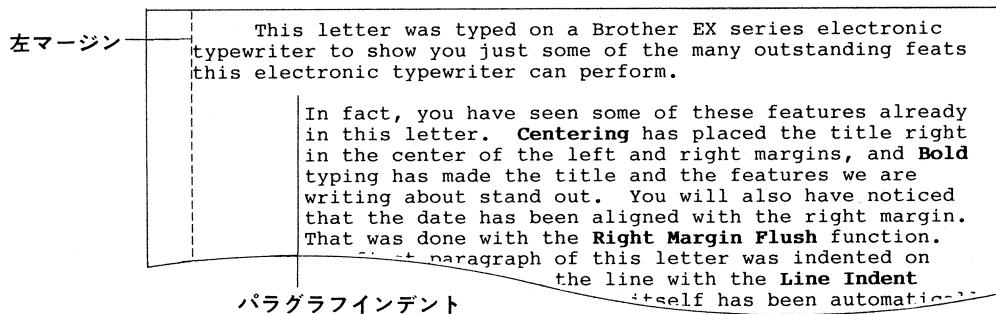


タイプ

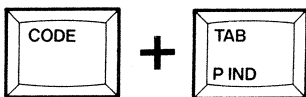
1. キャリヤを左マージンに移動しラインインデントキーを押すと、キャリヤは5文字分右に移動します。
2. 文章をタイプします。

10. パラグラフインデントキー(P IND)

文章または引用文全体に、一時的な仮の左マージンを設定したいときに使用します。



タブの設定

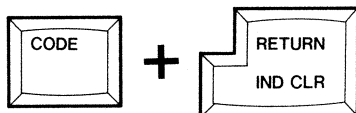


タイプ

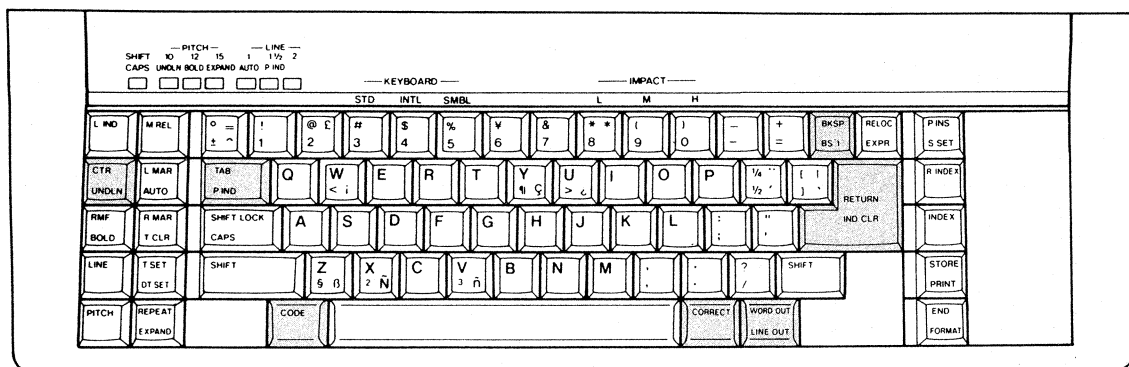
1. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、パラグラフインデントを実施したい位置にタブを設定します。"タブの設定"(21ページ)を参照
2. バックスペースキーを押して、1. で設定したタブからキャリヤを1文字分以上左に移動します。
3. コードキーを押したまま、パラグラフインデントキーを押します。キャリヤは1. で設定したタブ位置に移動します。(デシマルタブは無視します。)パラグラフインデントインジケータが点灯し、手を離すと消灯します。この位置が仮の左マージンになります。
4. 文章をタイプします。リターンキーを押すと、キャリヤは自動的にパラグラフインデントの設定位置に移動します。

- 注) 1. パラグラフインデントの設定位置より左にタイプするとき、バックスペースキーまたはコードキーを押したまま、エクスプレスバックスペースキーを押してください。その後、リターンキーを押すと、自動的にパラグラフインデントの設定位置にもどります。
2. パラグラフインデントを実施するには、必ずタブを設定しておいてください。タブがいくつも設定してあるときは、現在のキャリヤ位置のすぐ右のタブ位置がパラグラフインデントの設定位置になります。
3. ホットゾーン内では、設定できません。
4. コードキーを押すと、パラグラフインデントキーの状態を確認することができます。

■パラグラフインデントの解除(IND CLR)

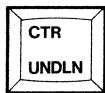
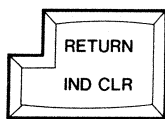
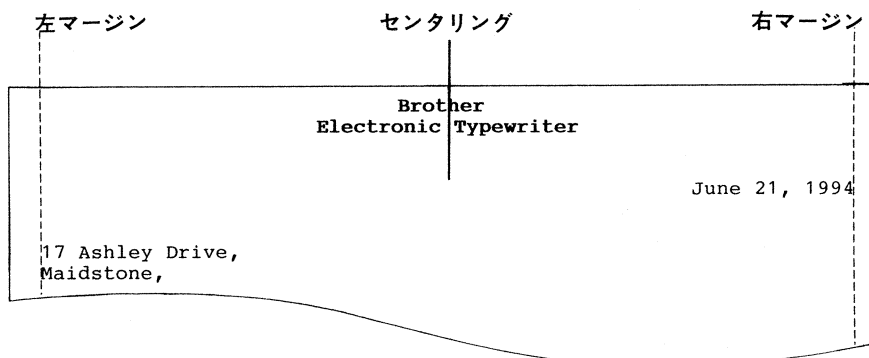


コードキーを押したまま、インデントクリアキーを押します。キャリヤは自動的にもとの左マージンに移動し、パラグラフインデントインジケータが消灯します。

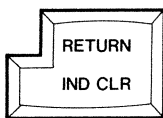


11. センタリング(CTR)

見出しやタイトルを中央に印字するとき 사용합니다。



タイプ



1. リターンキーを押して、キャリアを左マージンに移動します。

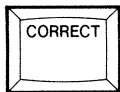
2. センタリングキーを押します。
キャリアはマージン間の中央に移動します。

3. 文章をタイプします。
タイプした文章は、直接印字せず、1文字ごとにキャリアは左へ移動します。
注) タイプした文章の訂正は、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。
1回押すとタイプした文字をすべて削除して、キャリアはマージン間の中央にもどります。

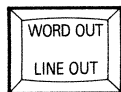
4. リターンキーを押すと、中央に印字してセンタリングモードを解除します。
キャリアは改行して左マージンにもどります。
注) タブキーを押して印字することもできます。

注) 1. タイプ中に電子音が鳴ったときは、入力可能文字数を越えたときです。
2. キャリアが左マージンにないときは、電子音が鳴りセンタリングはできません。

■センタリングの解除



または



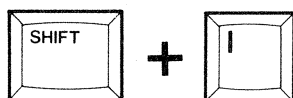
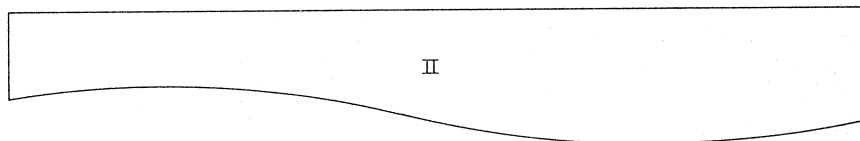
タイプした文字を削除後、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。
キャリアは左マージンに移動して、センタリングモードを解除します。

12. 重ね文字

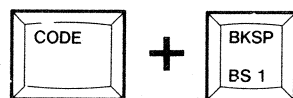
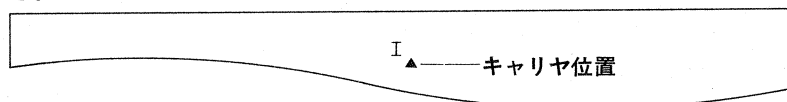
バックスペースを活用して、文字を重ねて印字することができます。

〈バックスペース1キー〉の場合

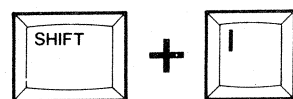
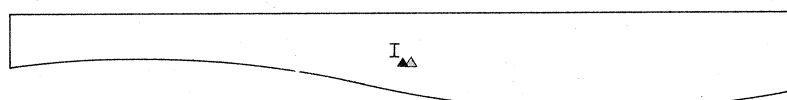
例



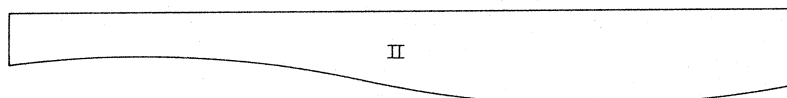
1. シフトキーを押したまま、文字キー“I”を押します。



2. コードキーを押したまま、バックスペース1キーを続けて数回押します。

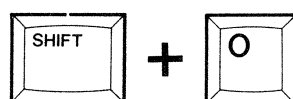
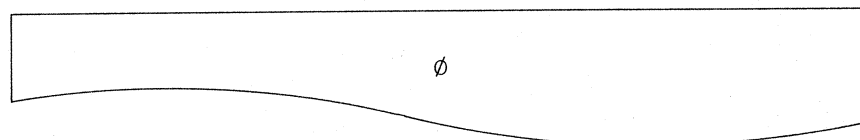


3. シフトキーを押したまま、文字キー“I”を押します。



〈バックスペースキー〉の場合

例



1. シフトキーを押したまま、文字キー“O”を押します。

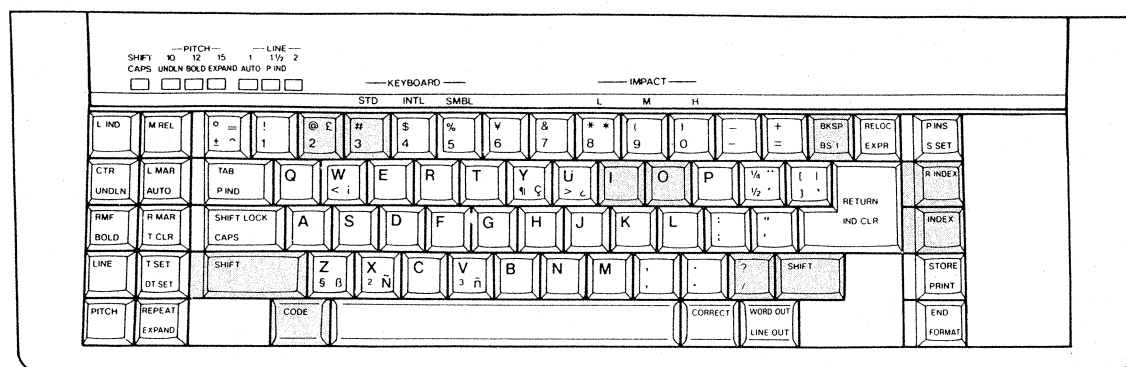


2. バックスペースキーを押して、キャリヤを1文字分左にもどします。



3. 記号キー“/”を押します。

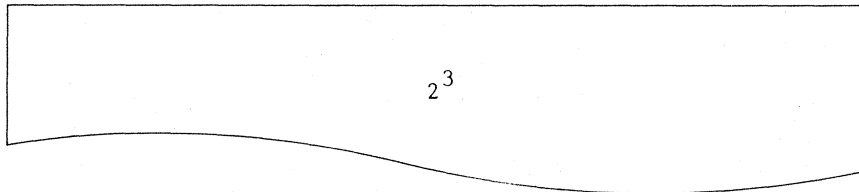
注) 後から印字した文字はオートコレクションで削除できますが、先に印字した文字はマニュアルコレクションで削除してください。



13. スーパースクリプト 上つき文字 (R INDEX)

現在タイプしている行よりも、半行分上にタイプするとき 사용합니다。

例



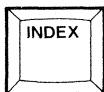
1. 数字キー“2”を押します。



2. リバースインデックスキーを押します。
用紙を半行分 (1/12インチ) もどします。



3. 数字キー“3”を押します。

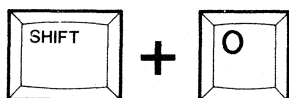
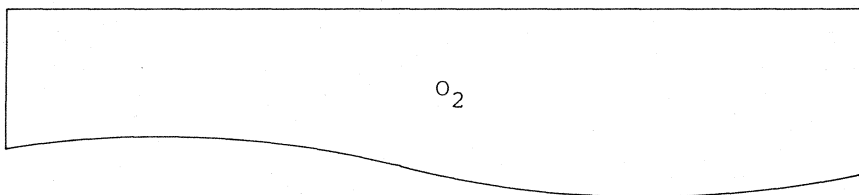


4. インデックスキーを押して、用紙をもどします。

14. サブスクリプト 下つき文字 (INDEX)

現在タイプしている行よりも、半行分下にタイプするとき 사용합니다。

例



1. シフトキーを押したまま、文字キー“O”を押します。



2. インデックスキーを押します。
用紙を半行分 (1/12インチ) 送ります。



3. 数字キー“2”を押します。

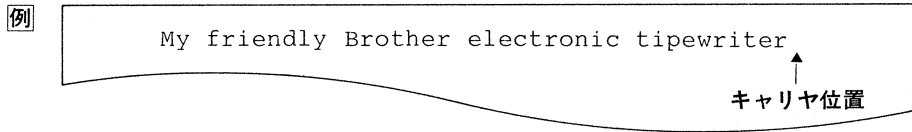


4. リバースインデックスキーを押して、用紙をもどします。

15. コレクション(CORRECT)

■オートコレクション

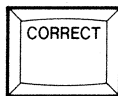
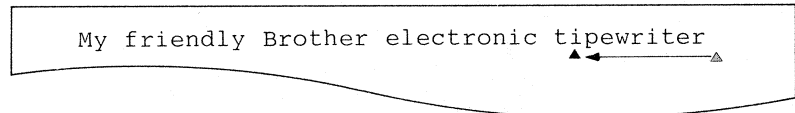
タイプ中の1行(オートコレクション領域)は、コレクションキーで簡単に修正することができます。



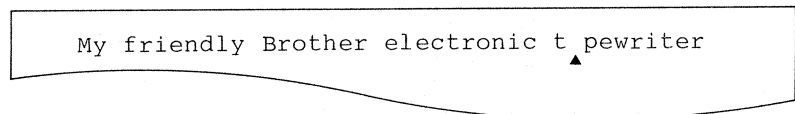
上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとで、リターンキーは押さないでください。



1. バックスペースキーを押して、キャリヤを修正しようとする文章の文字に移動します。“tipewriter”という単語の“i”という文字の部分です。

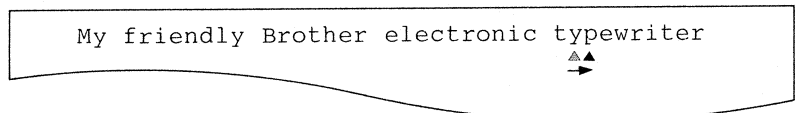


2. コレクションキーを押すと、“i”の文字を用紙から削除します。

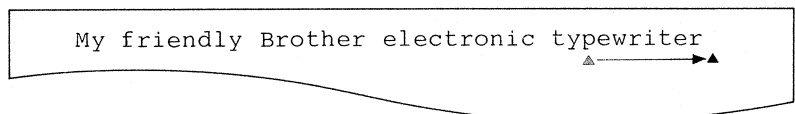


タイプ

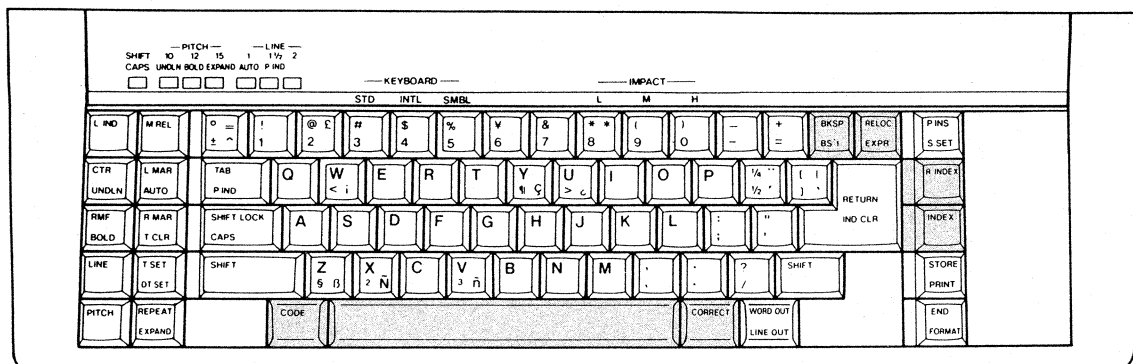
3. 正しい文字キー“y”をタイプします。



4. リロケートキーを押すと、キャリヤは修正前のもとの印字位置にすばやくもどります。



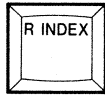
- 注) 1. 改行した場合は、オートコレクションはできません。
 2. コレクションキーを押し続けると、左にある文字を連続して削除します。
 3. エクスパンド文字、アンダーライン付きの文字、ボールドの文字、上つきや下つきの文字は、オートコレクションできません。
 4. バックスペースキーを使った重ね文字は、最後にタイプした文字のみをオートコレクションします。
 5. キーボード〈STD〉でタイプ中に、〈INTL〉または〈SMBL〉でタイプした文字をオートコレクションするには、デューイーホールカセットを交換し、キーボードを合わせてから削除してください。
 6. 1単語すべてを削除するときは、ワードアウトキーを使うと便利です。(31ページ参照)
 7. 1行すべてを削除するときは、ラインアウトキーを使うと便利です。(32ページ参照)



■マニュアルコレクション

オートコレクション領域外の修正は、マニュアルで行います。

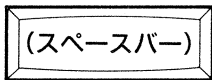
修正したい位置にキャリヤを移動してから削除します。“キャリヤ移動”(32ページ)を参照してください。



1. リバースインデックスキーを押して、修正したい行まで用紙をもどします。

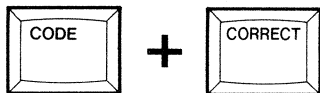
The unbeatable quality and superb performance
of this electronic typewriter will more than
satisfy your every typing need.

“e”に修正します。



2. スペースバーを押して、修正したい位置にキャリヤを移動します。

The unbeatable quality and superb performance



削除文字をタイプ

3. コードキーを押したまま、コレクションキーを押すとマニュアルコレクションモードになります。

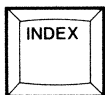
4. 修正したい文字“a”をタイプします。
用紙から“a”が削除されます。

The unbeatable quality and superb p rformance

正しい文字をタイプ

5. 正しい文字“e”をタイプします。

The unbeatable quality and superb performance



6. インデックスキーを押してもとの行にもどします。

The unbeatable quality and superb performance
of this electronic typewriter will more than
satisfy your every typing need.



7. バックスペースキーを押して、キャリヤをもとの印字位置にもどします。

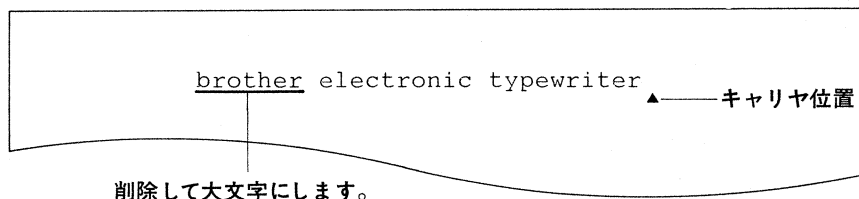
satisfy your every typing need.

注) マニュアルコレクションモードを解除したいときは、スペースバーを押します。

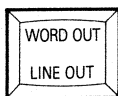
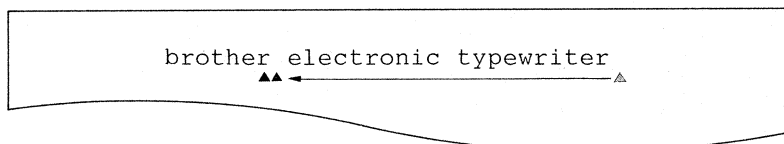
16. ワードアウトキー (WORD OUT)

タイプ中の行であれば、1つの単語全体を削除することができます。

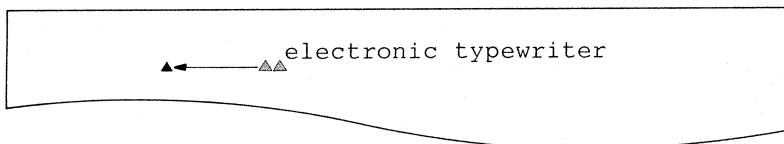
例



1. バックスペースキーを押して、キャリヤを "r" または次のスペースの位置に移動します。



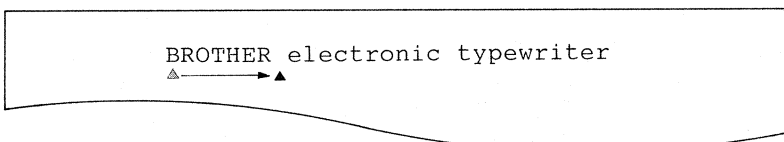
2. ワードアウトキーを押すと、単語を1文字ずつ削除します。



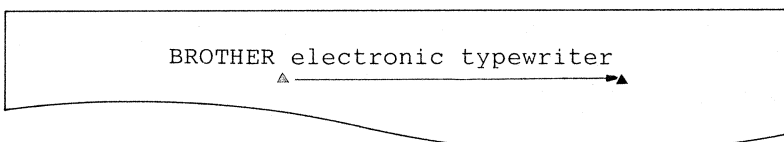
注) ワードアウトで単語を削除中、途中で中止したいときは、コレクションキーを押すとその位置でキャリヤが止まります。

タイプ

3. 新しい単語をタイプします。

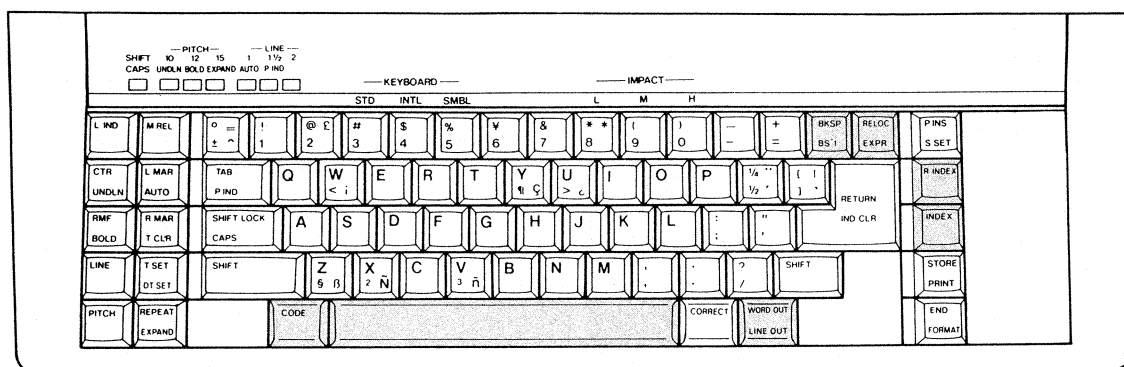


4. リロケートキーを押して、キャリヤをもとの位置にもどします。



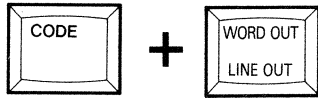
注) 1. 改行動作した場合は、ワードアウトはできません。

2. キャリヤが単語の途中の位置にあったとき、ワードアウトはその位置から単語の先頭までを削除します。

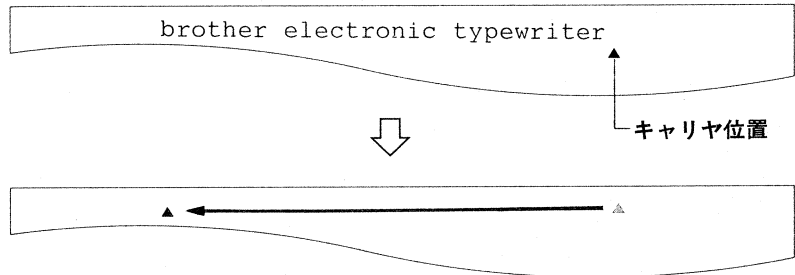


17. ラインアウトキー(LINE OUT)

タイプ中の行であれば、その行全体を削除することができます。



コードキーを押したまま、ラインアウトキーを押します。
 キャリヤの位置からその行の先頭の文字まで、連続して削除します。



- 注) 1. マージンリリースキーを押して、マージンを越えてタイプした文字も削除できます。
 2. 途中で中止したいときは、コレクションキーを押すと、その位置で止まります。

18. キャリヤ移動



リバース……………1/12インチ用紙をもどします。

インデックスキー

- ラインスペースが <1> のとき、2回押すともとの行にもどります。
- ラインスペースが <1 1/2> のとき、3回押すともとの行にもどります。
- ラインスペースが <2> のとき、4回押すともとの行にもどります。

注) 押しつづけると、連続して用紙をもどします。



インデックスキー……………1/12インチ用紙を送ります。

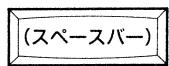
ラインスペースと押す回数は、上記を参照してください。

注) 押しつづけると、連続して用紙を送ります。



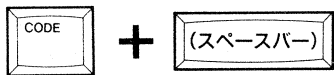
バックスペースキー……………キャリヤが左方向に移動します。

注) 押しつづけると、連続して移動します。



スペースバー……………キャリヤが右方向に移動します。

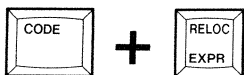
注) 押しつづけると、連続して移動します。



パーマネント……………キャリヤが右方向に移動します。

スペースバー

注) ホットゾーン内でスペースを入れたいときに使用します。



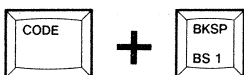
エクスプレス……………キャリヤが左マージンに移動します。

バックスペースキー

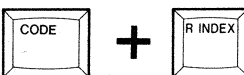
注) 改行動作はしません。



リロケートキー……………キャリヤが行末に移動します。

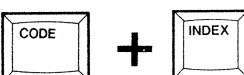


バックスペース1キー……………キャリヤが1/60インチ左に移動します。



マイクロリバース……………1/48インチ用紙をもどします。

インデックスキー



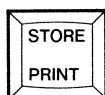
マイクロ……………1/48インチ用紙を送ります。

インデックスキー

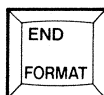
1. メモリーの登録

作成した文書を登録することができます。メモリー容量は約5,500文字、A4サイズで約3ページ分です。一度登録した文書は、簡単に打ち出しができます。

フォーマットの設定

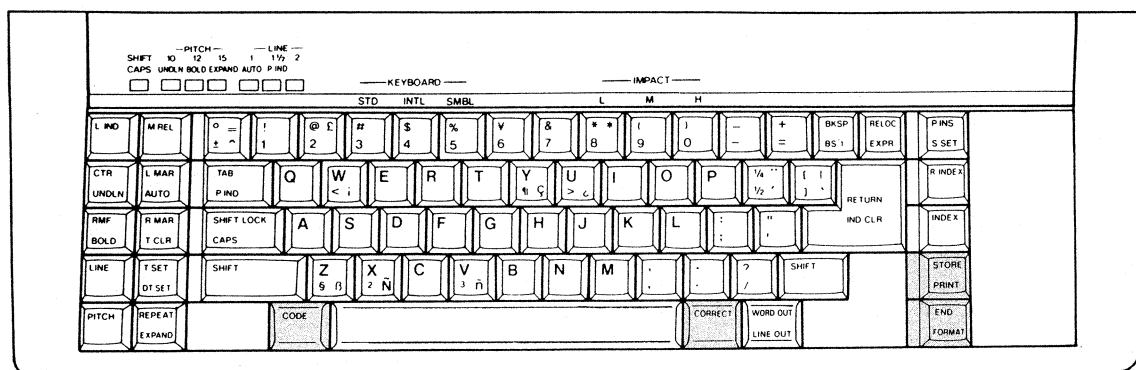


タイプ



1. マージン・タブ・デシマルタブ・ピッチを設定します。
2. ストアキーを押して、メモリーモードにします。
ピッチインジケータ3個が数回点滅し、キャリヤが左マージンに移動します。
3. 登録したい文書をタイプします。
リターン動作を行うと、ピッチインジケータ3個が数回点滅し、メモリーモード中であることを知らせます。
注) タイプした文字の訂正は、現在タイプ中の行であればコレクションキーまたはワードアウトキーで訂正することができます。
4. 登録が終わったら、エンドキーを押します。
ピッチインジケータ3個が数回点滅し、キャリヤが左マージンに移動してメモリーモードを解除します。

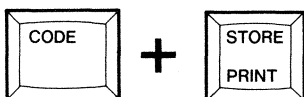
- 注)**
1. センタリング・ライトマージンフラッシュ・ボールド・アンダーライン・スーパースクリプト・サブスクリプトなどの機能は、すべて自動的にメモリー内に登録します。
 2. 改行動作後は、文書の訂正はできません。
 3. すでに文書が登録されているときは、そのあとに続けて追加登録しますので、新しく文書作成するときは前の文書を消去してから登録してください。
 4. メモリー容量を越える文章は登録できません。この範囲を越えて文章をタイプし、リターンキーを押すか、オートキャリヤリターンすると電子音が鳴ります。
 5. 登録したメモリーは電源スイッチを<OFF>にすると消えてしまいますので、ご注意ください。



2. メモリーの打ち出し

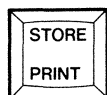
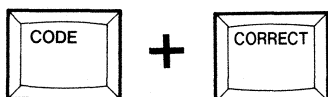
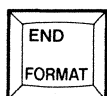
印字形態

1. 打ち出したい位置に左マージンを設定します。“左マージンの設定”(13ページ)を参照。
2. ラインスペース・インパクトを設定します。“ラインスペースキー”(12ページ)“インパクトキー”(10ページ)を参照。
3. コードキーを押したまま、プリントキーを押します。
 1. で設定した左マージンから打ち始めます。登録した文書をすべて打ち出すと、自動的にプリントモードを解除します。



- 注) 1. 打ち出しを一時中断したいときは、スペースバーを押します。ピッチインジケータ3個が数回点滅し、1行印字後キャリヤは左マージンに移動します。打ち出しを再開するときは、コードキーを押したまま、プリントキーを押します。
2. 打ち出しを中止したいときは、エンドキーを押します。打ち出しを中止して、改行後キャリヤは左マージンに移動します。
3. ピッチは、登録時のピッチで打ち出します。
4. メモリー登録時の左マージンより右にマージンを設定した場合に、電子音が鳴り印字を中止することがあります。このときは、左マージンを左側に設定し直し、再び打ち出してください。

3. メモリーの消去



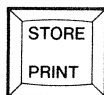
1. エンドキーを押して、メモリーモードでないことを確認します。
2. コードキーを押したまま、コレクションキーを押します。
3. ストアキーを押して、メモリーを消去します。ピッチインジケータ3個が数回点滅してメモリーモードとなり、新しく文書が登録できます。

4. ラインフォーム

よく使われるラインフォームを、1種類登録することができます。

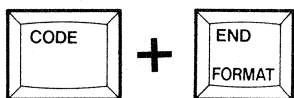
登録できるラインフォームは、左マージン・右マージン・タブ・デンマルタブ・ピッチ・ラインスペース・スタートラインです。これらのラインフォームは、いつでも呼び出すことができます。

登録

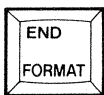


1. ストアキーを押して、メモリーモードにします。
ピッチインジケータ3個が数回点滅し、キャリヤが左マージンに移動します。

ラインフォームの設定



2. 登録したいラインフォームを設定します。

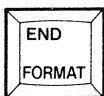


3. コードキーを押したまま、フォーマットキーを押します。
ピッチインジケータ3個が数回点滅し、新しいラインフォームを登録します。

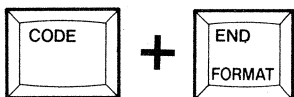
4. エンドキーを押します。
ピッチインジケータ3個が数回点滅し、キャリヤが左マージンに移動してメモリーモードを解除します。

- 注) 1. 新しいラインフォームを登録すると、以前のラインフォームは解除します。
2. 登録したラインフォームは電源スイッチを<OFF>にすると消えてしまいますのでご注意ください。

呼び出し

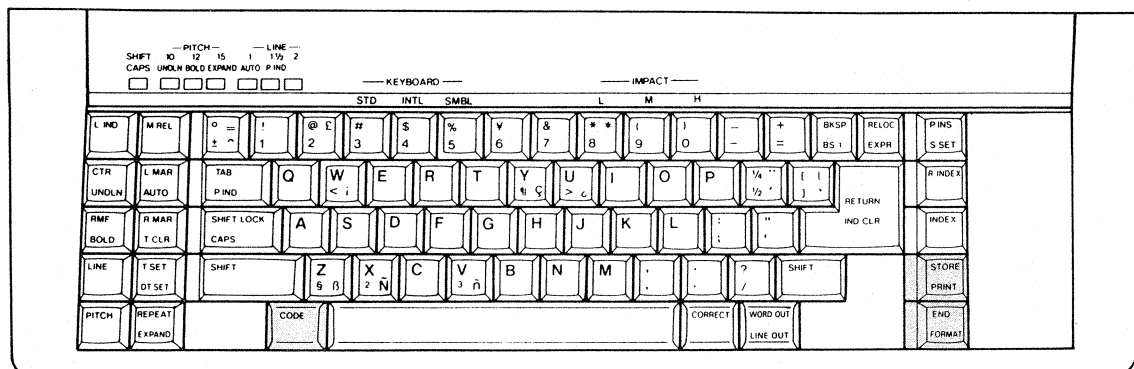


1. エンドキーを押して、メモリーモードでないことを確認します。



2. コードキーを押したまま、フォーマットキーを押します。
キャリヤは呼び出したラインフォームの左マージンに移動します。

- 注) 2. の後に、コードキーを押したままフォーマットキーを押すと、初期のラインフォームにもどります。登録したラインフォームと初期のラインフォームは、コードキーを押したままフォーマットキーを押すことにより交互に呼び出されます。



デージーホールカセットタイプフェース見本

<p>ブルーアム 10</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>	<p>スーパー グランデII 10</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>
<p>ブルーアム 12</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>	<p>カナ英文 10</p>	<p>アイウエオカキククコサシスセソタチツテトナニヌネノ ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン" ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ @()_°,.,1234567890¥,./ \$%+-</p>
<p>ブルーアム 15</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>	<p>カナ英文 1012</p>	<p>アイウエオカキククコサシスセソタチツテトナニヌネノ ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン" ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ @()_°,.,1234567890¥,./ \$%+-</p>
<p>パイカ 10</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>	<p>OCR-K 10</p>	<p>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワン" @*%<>_+=1234567890¥°,.-/</p>
<p>グランデ 10</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>	<p>エリート 12</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>
<p>スーパー グランデ 10</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>	<p>リーガル プレステージ 10</p>	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#%\$¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§^{2 3}</p>

プレステージ 1012	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#\$%¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§²³
プレステージ イタリック 1012	<i>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ</i> <i>abcdefghijklmnopqrstuvwxyz</i> <i>!@#\$%¥&*()_+¼[:"°,..?</i> <i>1234567890-=½];'±,./</i> <i><¶>§²³</i>
クワドロ 1012	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#\$%¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§²³
クワドロ 15	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#\$%¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§²³
スクリプト 1012	<i>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ</i> <i>abcdefghijklmnopqrstuvwxyz</i> <i>!@#\$%¥&*()_+¼[:"°,..?</i> <i>1234567890-=½];'±,./</i> <i><¶>§²³</i>
レターゴシック 12	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#\$%¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§²³

OCR-A	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ƵǄH¢%¥&*{ }+■-:"'.,? 1,234567890-=■£;' ,./
OCR-B	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !@#\$%¥&*()_+¼[:"°,..? 1234567890-=½];'±,./ <¶>§²³
インターナショナル	
ブルーアム 10	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !£#\$%¥&*()_+¨ :"'_,..? 1234567890-=´`;'^,./ iç¿BÑñ
プレステージ 1012	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !£#\$%¥&*()_+¨ :"'_,..? 1234567890-=´`;'^,./ iç¿BÑñ
クワドロ 15	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz !£#\$%¥&*()_+¨ :"'_,..? 1234567890-=´`;'^,./ iç¿BÑñ
シンボル	
シンボル 10	∇∞ΨΦ←<Λ¶↑>§Ωθ~↓ℓΓΘΣ→ΞαΔ≡Τ≈ αβψφε^ληι+κωμνοργθστξ''δχυζ ±×÷•-×≥≤∫√∕∕Π{() } __ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ∟ ∪ ∩ ∪ ∩ ~ ©♀σ`´®

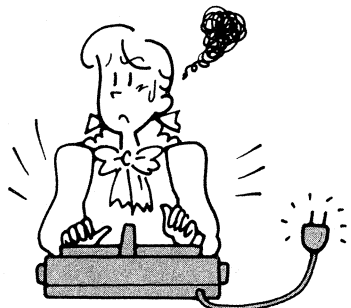
注) 1. タイプフェース見本は原寸大です。
 2. "1012"はパイカとエリート両方に、"10"はパイカ、
 "12"はエリート、"15"はミクロンに使用できます。

こんなときは…?

製品については万全を期しておりますが、もし何か本体に異常があるときは、下記の項目についてチェックしてください。それでもなお、正常に作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは……?

- 電源スイッチを<ON>にしても作動しないときは……



- タイプしても印字しなかったり、文字が乱れているときは……



- コレクション機能がはたらかないときは……



- プラテンに紙がからまったりラベルが張りついてしまったときは……



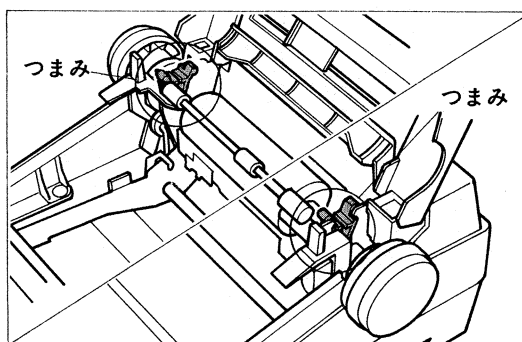
こうしてください……!

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。“電源コード・電源スイッチ”(4ページ)を参照してください。
2. トップカバーがしっかりと閉めてあるか確認してください。“トップカバー”(4ページ)を参照してください。

1. デイジーホイールカセットが正しく挿入されているか確認してください。“デイジーホイールカセット”(7ページ)を参照してください。
2. カセットリボンがなくなっていないか? 消耗しているときは、新しいリボンを取り付けてください。“カセットリボン”(8ページ)を参照してください。
3. カセットリボンが正しく取り付けられているか確認してください。“カセットリボン”(8ページ)を参照してください。
4. キーボードが正しい位置に設定されているか確認してください。“キーボードキー”(11ページ)を参照してください。

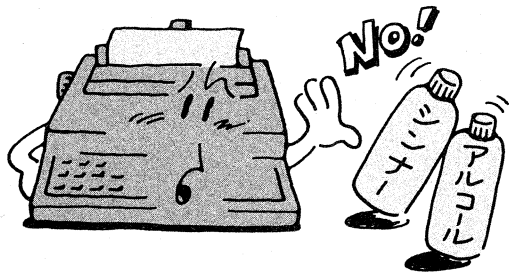
1. コレクションテープがなくなっていないか? 消耗しているときは、新しいテープを取り付けてください。“コレクションテープ”(9ページ)を参照してください。
2. コレクションテープが正しく取り付けられているか確認してください。“コレクションテープ”(9ページ)を参照してください。
3. 使用中のコレクションテープとカセットリボンが適合しているかどうか確認してください。“カセットリボン”(8ページ)“コレクションテープ”(9ページ)を参照してください。

下図に示すつまみをつまんで持ち上げ、プラテンをはずして処理してください。

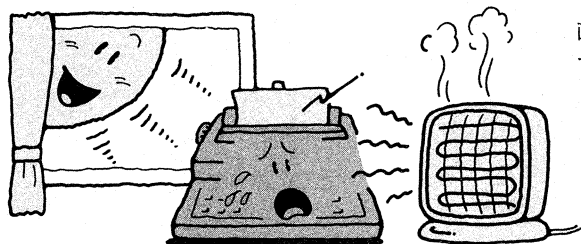


タイプライターの手入れとご注意

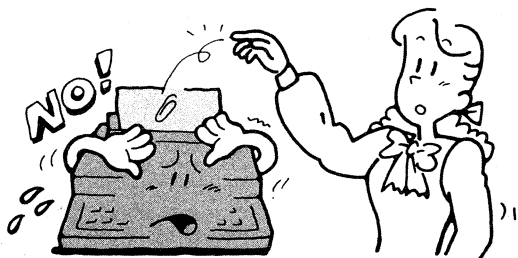
本機をいつも快適に、また長くご使用いただくために次の点にご注意ください。



カバー、キーなどの掃除にアルコールやシンナー、その他有機溶剤、化学ぞうきんなどを使用しないでください。使用すると本体が変色、変形を起こす場合があります。ゴミ・ホコリはかるくふく程度にしてください。



直射日光の当たる場所、高温を発する物の近くや振動の大きな場所では使用しないでください。



クリップや他の金属物を、本機の中に落とさないでください。故障の原因になる場合があります。



本機の底や背のスリットは空気の入出口のため、物などを置かないでください。本機は水平に置いてください。

仕様

印字方法	カセット式デジールホイール(96文字)
印字スピード	16文字/秒
印字ピッチ	10(1行内の最大印字数117文字) 12(1行内の最大印字数140文字) 15(1行内の最大印字数175文字)
最大用紙幅	381.0mm(15.0インチ)
最大印字幅	297.2mm(11.7インチ)
コピー能力	オリジナル+コピー4枚
ラインスペース	1行、1 1/2行、2行
カセットリボン	コレクタブルカーボンリボン(標準装備) マルチユースカーボンリボン ワнтаイムカーボンリボン ナイロンリボン
コレクションテープ	リフトオフコレクションテープ(標準装備) カバーラップコレクションテープ
メモリー	5.5K(約5500文字)
コレクションメモリー	1行
キーボードメモリー	48文字
キーボード	46文字キー
消費電力	46W
寸法	466mm(幅)×410mm(奥行)×135.5mm(高さ)
重量	7.5kg

仕様は都合により変更する場合があります。

消耗品

消耗品は当社の製品をお使いください。当社の製品以外をご使用になり故障の原因となった場合は、保証できない場合があります。

		部品コード	リボン番号
●カセットリボン	コレクタブルカーボンリボン(黒)(標準装備)	575484010	(7020)
	// (緑)	576876001	(7023)
	// (茶)	576877001	(7024)
	// (青)	576878001	(7025)
	// (赤)	576879001	(7027)
	マルチユースカーボンリボン(黒)	575488010	(7040)
●コレクションテープ	ワнтаイムナイロンリボン (黒)	575492010	(7022)
	ナイロンリボン (黒)	575496010	(8020)
	リフトオフコレクションテープ(標準装備)	542792001	
	カバーラップコレクションテープ	542803001	
●デジールホイールカセット			

索引

あ	インターナショナルキーボード……………11	は	パーマナントスペースバー……………20
	インデックスキー(INDEX)……………32		パーマナントハイフンキー……………20
	インパクトキー(IMPACT)……………10		バックスペースキー(BKSP)……………15
	上つき文字(スーパーSCRIPT)……………28		バックスペース1キー(BS 1)……………15
	エクストラ文字キー……………17		パラグラフインデントキー(P IND)……………25
	エクスパンドキー(EXPAND)……………18		パラグラフインデントの解除(IND CLR)……………25
	エクспレスバックスペースキー(EXPR)……………15		ピッチキー(PITCH)……………12
	エンドキー(END)……………33		ファンクションキー……………17
	オートアンダーラインキー(UNDLN)……………19		フォーマットキー(FORMAT)……………35
	オートキャリヤリターンキー(AUTO)……………20		ブラテンノブ……………3
	オートコレクション(CORRECT)……………29		ペーパーインサートキー(P INS)……………5
			ペーパーメーター……………8
か	重ね文字……………27		ボールドキー(BOLD)……………18
	バックスペース1キーの場合……………27		ホットゾーン……………19
	バックスペースキーの場合……………27	ま	マージン……………13
	カセットリボン……………8		左マージンの設定(L MAR)……………13
	取りはずし方……………8		右マージンの設定(R MAR)……………14
	取り付け方……………8		マージンの解除……………14
	機器構成(名称とはたらき)……………3		マイクロインデックスキー……………32
	キーボードキー(KEYBOARD)……………11		マイクロリバースインデックスキー……………32
	キーボード部の名称とはたらき……………1・2		マニュアルコレクション……………30
	キャリヤ移動……………32		メモリーの打ち出し……………34
	コピーコントロールレバー……………6		メモリーの消去……………34
	コレクション(CORRECT)……………29		メモリーの登録……………33
	コレクションテープ……………9	や	ユーウムラウト(Ü)……………11
	取りはずし方……………9		用紙の挿入(P INS)……………5
	取り付け方……………9	ら	ライトマージンフラッシュキー(RMF)……………24
	こんなときは…?……………38		ライトマージンフラッシュの解除……………24
さ	サブSCRIPT(下つき文字)(INDEX)……………28		ラインインデントキー(L IND)……………24
	シフトキー(SHIFT)……………16		ラインアウトキー(LINE OUT)……………32
	シフトロックキー(SHIFT LOCK)……………16		ラインスペースキー(LINE)……………12
	下つき文字(サブSCRIPT)……………28		ラインフォーム……………35
	手動挿入……………6		登録……………35
	仕様……………40		呼び出し……………35
	消耗品……………40		リバースインデックスキー(R INDEX)……………32
	初期設定……………10		リピートキー(REPEAT)……………17
	自動挿入……………5		リロケートキー(RELOC)……………29
	シンボルキーボード……………11	わ	ワードアウトキー(WORD OUT)……………31
	スーパーSCRIPT(上つき文字)(R INDEX)……………28		
	スタートラインセットキー(S SET)……………6		
	ストアキー(STORE)……………33		
	ストッパー(黄色)……………8		
	スペースバー……………32		
	センタリング(GTR)……………26		
	センタリングの解除……………26		
た	タイプライターの手入れとご注意……………39		
	タブ……………21		
	タブの設定(T SET)……………21		
	タブの実施(TAB)……………21		
	タブの解除(T CLR)……………21		
	タブのオールクリア……………22		
	デジターホイールカセット……………7		
	取りはずし方……………7		
	取り付け方……………7		
	デジターホイールカセットタイプフェース見本……………36・37		
	デシマルタブ……………22		
	デシマルタブの設定(DT SET)……………22		
	デシマルタブの実施(TAB)……………23		
	デシマルタブの解除(T CLR)……………23		
	デッドキー……………11		
	電源コード……………4		
	電源スイッチ……………4		
	トップカバー……………4		

●アフターサービスについて

- ・お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- ・無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください。）
それ以降の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- ・アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記のブラザー販売（株）〈各営業部〉へお問い合わせください。

各営業部

札幌営業部	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL : (011)222-7788
大宮出張所	〒330-0845	埼玉県大宮市仲町1-124-2	TEL : (048)640-3654
東京営業部	〒104-8790	東京都中央区京橋3-3-8	TEL : (03)3274-6911
名古屋営業部	〒467-0851	名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL : (052)824-3196
大阪営業部	〒550-0012	大阪市西区立売堀4-4-2	TEL : (06)6543-9120
広島営業部	〒730-0021	広島市中区胡町4-28	TEL : (082)240-3781
福岡営業部	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-3-12	TEL : (092)481-1560

◎ ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈各営業部〉へご連絡ください。

※ 上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

保証書について……

この製品には保証書がついています。保証書は販売店で発行いたしますから、お買い上げの販売店から必ずお受け取りいただき、大切に保存してください。

取扱店

ブラザー工業株式会社

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467
TEL : (052)824-2511(代表)